

平成25年度

福岡アジア美術館年報

Fukuoka Asian Art Museum Annual Report 2013

平成25年度

福岡アジア美術館年報

Fukuoka Asian Art Museum Annual Report 2013

目次

■ 展示事業	
1 特別企画展	04
2 小企画展	09
3 コレクション展	10
■ 交流事業	
1 招聘事業	12
2 受入支援事業	15
3 地域交流事業	15
■ 教育普及事業	
1 体験学習、博物館実習等	16
2 とびだせ！アジア美術館事業	16
■ ミュージアム施策事業	17
■ ボランティア活動	18
■ 広報活動	21
■ 所蔵作品	
1 新所蔵作品	24
2 貸出一覧	26
3 修復一覧	28
4 所蔵品等の掲載一覧	29
■ 入館者数	30
■ 活動記録	34
■ 概要	
1 基本理念	36
2 活動内容	37
3 施設概要	38
4 沿革	42
■ 名簿	43



展示事業

NTT西日本スペシャル
「おいでよ！絵本ミュージアム2013 『季節と食』
～いのちのかがやき しぜんのめぐみ いただきます～」



会 期 2013年7月26日(金)～8月18日(日)
 会 場 企画ギャラリー、彫刻ラウンジ、あじびホール
 主 催 福岡アジア美術館、西日本新聞社、TNCテレビ西日本、NPO法人子ども文化コミュニティ
 特別協賛 NTT西日本
 協 力 はたこうしろう、エリック・カール、かこさとし、加藤休三、どいかや、とよたかずひこ、やまだうたこ、偕成社、童心社、エリック・カール美術館、加古総合研究所、(有)カレルチャベック、(株)グッド・グループ、NTTコミュニケーション科学基礎研究所、NTTレゾナント、NTTラーニングシステムズ、NTTコムウェア九州、NTTドコモ、ホテルオークラ福岡、エフコープ生活協同組合、子どもの本の専門店エルマー、ロイヤルホスト(株)
 後 援 福岡県、福岡県教育委員会、福岡市教育委員会、(公財)福岡市文化芸術振興財団、TVQ九州放送、福岡県私立幼稚園振興協会、福岡県国公立幼稚園協会、福岡県PTA連合会、福岡市PTA協議会、福岡県子ども育成連合会、福岡県教職員互助会、西日本鉄道、九州旅客鉄道、西日本リビング新聞社、cross fm、FM福岡、LOVE FM
 開催日数 24日間
 観覧者数 50,418人
 福岡の夏の定番企画となった「おいでよ！絵本ミュージアム」シリーズの第7回目。今回は、自然の恵みをいただくことで生かされている命をみつめるため、「四季」と「食」に注目した。子どもの暮らしの中で大切にしたい四季折々の身近な自然とのふれあいや遊び。そして、丈夫で健康な心と体、生きる力のもととなる「食」を中心に展示を行った。企画ギャラリーでは、夏の日の1日、四季のうつろい、食べる

ことに焦点をあてた会場構成を行った。自由に手にとって読むことのできる約1,000冊の絵本とともに、人気絵本作家はたこうしろう、エリック・カール、かこさとし、加藤休三、どいかや、やまだうたこにご協力いただき、絵本の世界が飛び出したような空間展示を行った。また、特集「おいしい絵本」として、子どもたちが大好きな食べものが出てくる絵本や食育など「食」に関連した絵本コーナー、NTTグループの協力のもと、先端のデジタル技術を活用した展示コーナーも行った。彫刻ラウンジでは、ワークショップなどの体験型イベントや絵本の読み聞かせを行った。

ポスター B2 ファクトリー・エム[松浦佳菜子](デザイン)／西日本新聞印刷
 チラシ A3 ファクトリー・エム[松浦佳菜子](デザイン)／西日本新聞印刷

- 関連事業
- オープニングスペシャルイベント
「絵本作家はたこうしろうライブペインティング & TNCアナウンサーとのトークショー」
講師：はたこうしろう(絵本作家)、TNCアナウンサー
日時：7月26日(金)11:00～11:30
場所：彫刻ラウンジ
 - 絵本作家はたこうしろうワークショップ
「いきものがいっぱい！カラフルどうぶつえん」
講師：はたこうしろう(絵本作家)
日時：7月26日(金)13:30～16:30
場所：彫刻ラウンジ
 - 絵本作家はたこうしろうワークショップ
「ヒトのカタチ、いろんなカタチ、自由に色をぬってみよう！」
講師：はたこうしろう(絵本作家)
日時：7月27日(土)13:30～16:00
場所：彫刻ラウンジ
 - えほんとおとの世界
講師：永山マキ(ボーカル)&イシイタカユキ(ギター)
日時：7月28日(日)11:00～12:00
場所：彫刻ラウンジ
 - 絵本作家加藤休三ワークショップ
「加藤休三とクレヨンで描こう！おもしろおにぎりをつくろう！」
講師：加藤休三(絵本作家)
日時：7月28日(日)、29日(月)13:30～15:30
場所：彫刻ラウンジ
 - 紙芝居連続講座
「演じるよろこび すばらしい紙芝居」
講師：中平順子(子ども文化研究家、ABMS代表)
日時：8月3日(土)、4日(日) 各日13:00～16:00
場所：あじびホール

□LOVE FMのDJ:TOM Gと一緒に、読んでみよう
動いてみよう！

宮沢賢治「やまなし」

講師:TOM G (LOVE FM:DJ)

日時:8月3日(土)、5日(月) 各日15:00~16:00

場所:彫刻ラウンジ

□絵本作家やまだうたこワークショップ

「みつばちバジーちゃんのトートバッグをつくろう！」

講師:やまだうたこ(絵本作家)

日時:8月10日(土)、11日(日)11:00~13:00、
15:00~17:00

場所:彫刻ラウンジ

□ピッケのつくるえほん

日時:8月10日(土)~8月14日(水)

10:30~12:30、14:00~16:00

場所:彫刻ラウンジ

□ダンス・ワークショップ

「うごきだす絵本」

講師:神崎由布子(舞踊家、演出家、振付家)

日時:8月13日(火)~8月17日(土)13:00~16:00

場所:あじびホール

□対談:食といのちのトークライブ

「子どもに何をのこせますか？」

講師:西 福江(社会福祉法人福栄会高取保育園
園長)、安武信吾(西日本新聞社地域づくり
調査室)

司会:渡邊美穂(糸島在住、元西日本新聞社記者)

日時:8月1日(木)13:30~15:30

場所:あじびホール

□NEWS café

日時:8月4日(日)15:00~17:00

場所:会議室(8F)

□おいしい絵本ワークショップ

講師:子ども文化コミュニティ

日時:8月1日(木)~9日(金)、12日(月)~14日
(水)、18日(日)

11:00~12:00、13:30~14:30

場所:彫刻ラウンジ

□子育てクラウド塾

講師:宮原礼智(ファザリングジャパン九州代表)

日時:7月30日(火)、8月6日(火) 12:00~、15:00~

場所:彫刻ラウンジ

□もくねんさん(おがくすでできた粘土で工作教室)

「ジュースの糖度実験」

提供:エフコープ生活協同組合

日時:8月15日(木)、16日(金)、17日(土)

10:00~17:00

場所:彫刻ラウンジ

□ファニットリズムでどうぶつ体操

講師:太刀山美樹(MIKIファニット代表)ほか

日時:8月12日(月)、18日(日)

第1回 11:30~11:50

第2回 13:30~13:50

第3回 15:00~15:20

場所:彫刻ラウンジ

□絵本のよみきかせ

協力:TNCアナウンサー(大谷真宏、津野瀬果絵、
山口喜久一郎、出口麻綾、松尾幸一郎、四位
知加子、坂梨公俊、田久保尚英、新垣泉子)

日時:7月26日(金)~8月18日(日)

11:00~、13:00~

場所:ラウンジM8

関連記事

2013. 7. 13 西日本新聞(夕) 「おいでよ! 絵本ミュージアム2013」

2013. 7. 18 西日本新聞(朝) 「お気に入りの一冊探そう」

2013. 7. 27 西日本新聞(朝) 「絵本の世界へ子供を招待」

2013. 8. 3 西日本新聞(夕) 「絵本ミュージアム入場者1万人突破」

2013. 8. 7 西日本新聞(朝) 「もの知りタイムズ 絵本ミュージアム」

2013. 8. 7 西日本新聞(朝) 「おはなしめしあがれ 絵本ミュージアム(上)命への感謝と敬意」

2013. 8. 8 西日本新聞(朝) 「おはなしめしあがれ 絵本ミュージアム(中)食べ物はどこから」

2013. 8. 9 西日本新聞(朝) 「おはなしめしあがれ 絵本ミュージアム(下)《幸せ》が並ぶ食卓」

2013. 9. 30 西日本新聞(朝) 中山憲康「子どもは未来の鑑賞者」

関連放送

2013. 7. 26 TNCテレビ西日本 FNNスピーク

2013. 7. 26 TNCテレビ西日本 TNCスーパーニュース

2013. 8. 2 TNCテレビ西日本 もち浜ストア

2013. 8. 14 TNCテレビ西日本 マニア・マニエラ

スタジオジブリ・レイアウト展



会期	2013年10月12日(土)～2014年1月26日(日)
会場	企画ギャラリー
主催	福岡アジア美術館、FBS福岡放送、読売新聞社
企画制作協力	スタジオジブリ、三鷹の森ジブリ美術館
協力	エプソン販売(株)、ウォルト・ディズニー・スタジオ・ジャパン
後援	福岡県、福岡県教育委員会、(公財)福岡市文化芸術振興財団
協賛	積水ハウス株式会社、中村調理製菓専門学校、マリンハイドロテック株式会社、博多菓子工房(有)二鶴堂、(公財)福岡文化財団
開催日数	87日間
観覧者数	150,418人
出品点数	約1300点

FBS開局45周年、読売新聞西部本社発刊50周年を記念し、スタジオジブリ・三鷹の森ジブリ美術館全面協力のもと開催された『スタジオジブリ・レイアウト展』。「風の谷のナウシカ」から最新作まで、宮崎駿監督の直筆レイアウトを中心に、高畑勲、宮崎岡監督がジブリ以前に手掛けた作品も含め、約1300点のレイアウトを公開した。「レイアウト」とは、一枚の紙に、背景とキャラクターの位置関係、動きの指示、カメラワーク、撮影処理など、そのカットで表現されるすべてが描かれる、ジブリ作品の設計図とも言えるものである。本展は、作り手のイメージーションにあふれたレイアウトによって、日本が世界に誇るスタジオジブリの創造の秘密にせまる展覧会であった。

ポスター	B2	FBS福岡放送(制作)
チラシ	A4	FBS福岡放送(制作)
図録	A4変形	株式会社スタジオジブリ(編集)、彦根大助(デザイン)、日本テレビ放送網株式会社(発行)

- 関連事業
- かぐや姫トークショー
出演:朝倉あき、二階堂和美、西村義明
日時:2013年11月12日(火)18:20～19:00
場所:あじびホール
 - ジブリトークショー
出演:西岡純一、田中千義
日時:2013年11月22日(金)16:00～18:00
場所:あじびホール
 - 高校生限定!「スタジオジブリ・レイアウト展」鑑賞会
日時:2013年11月24日(日)14:00～16:20
場所:あじびホール
 - カオナン記念撮影会
日時:2013年11月9日(土)、12月7日(土)、14日(土)、21日(土)、13:00～、14:30～、16:00～
会場:あじびホール
 - ライブ
出演:米良美一
日時:2013年12月12日(木)17:30～
会場:キャナルシティ博多 サンブラザステージ

関連記事

- 2013. 7.13 読売新聞(朝) 「スタジオジブリ・レイアウト展」
- 2013. 9.11 読売新聞(朝) 「ジブリ展 来月開幕、内覧会に招待」
- 2013. 9.30 読売新聞(朝) 「名作の舞台裏」
- 2013.10.11 読売新聞(朝) 「ジブリ展準備進む 福岡アジア美術館あす開幕」
- 2013.10.12 読売新聞(朝) 「巨匠の緻密さ驚き ジブリ・レイアウト展開会式」
- 2013.10.12 読売新聞(朝) 「ジブリ展開会式」
- 2013.10.20 読売新聞(朝) 「《ジブリ展》1万人突破」
- 2013.10.29 読売新聞(朝) 「ジブリ展2万人」
- 2013.11.05 読売新聞(朝) 「ジブリ展 3万人突破」
- 2013.11.07 読売新聞(朝) 「ジブリ展講演会50組を無料招待」
- 2013.11.19 朝日新聞(朝) 中村俊介「福岡・北九州の人気アニメ展」
- 2013.11.19 読売新聞(朝) 山木裕子「スタジオジブリ・レイアウト展①一枚の紙に必要な要素」
- 2013.11.20 読売新聞(朝) 山木裕子「スタジオジブリ・レイアウト展②制作現場に入った感覚」
- 2013.11.23 読売新聞(朝) 「ジブリ展5万人突破」
- 2013.11.23 読売新聞(朝) 山木裕子「スタジオジブリ・レイアウト展③映画1本 動画17万枚超」
- 2013.11.25 読売新聞(朝) 「ジブリ展 見所さらに」
- 2013.12.14 読売新聞(朝) 「ジブリ展入場者7万人を突破」
- 2014. 1.18 読売新聞(朝) 「ジブリ展入場者特別展記録更新」

関連放送

- 2013. 9.27 FBS福岡放送 「金曜テレビアン」
- 2013.10.11 FBS福岡放送 「めんたいワイド」
- 2013.10.11 FBS福岡放送 「ニュース5ちゃん」
- 2013.12.12 FBS福岡放送 「めんたいワイド」

東京・ソウル・台北・長春一官展にみる近代美術



会期	2014年2月13日(木)～3月18日(火)
会場	企画ギャラリー
主催	福岡アジア美術館 読売新聞社 美術館連絡協議会 FBS福岡放送
助成	芸術文化振興基金 ポーラ美術振興財団 公益財団 法人吉野石膏美術振興財団
協賛	ライオン 清水建設 大日本印刷 損保ジャパン
開催日数	30日間
観覧者数	3,552人
出品点数	129点

本展は、20世紀前半の日本、韓国[旧朝鮮]、台湾、中国東北部[旧満洲]で開かれた官設の公募美術展覧会(官展)をとおして、これらの地域の美術の近代化を紹介する初めての展覧会であった。

当時、朝鮮や台湾、満洲は、日本の統治下・影響下であり、日本式の制度やインフラが整備されていた。美術においても、1907年に東京で始まった文部省美術展覧会の制度が各地に導入され、1922年にはソウル[旧京城]で朝鮮美術展覧会が、1927年には台北で台湾美術展覧会が、そして1938年には長春[旧新京]で満洲国美術展覧会が始まっている。

本展では、当時もっとも華々しく開かれたこれらの官展を、四つのコーナーの総数93作家129点により振り返った。各コーナーでは、西洋に発した近代美術が各地に根付き、各々の伝統や美意識にあわせて変化しながら、西洋画や彫刻のみならず伝統絵画においても、それぞれ独自の近代美術が形成された様子を概観した。また、各作品からは画家の関心や表現の工夫なども垣間見えた。

ポスター B2	ワーロック[栗田卓哉](デザイン)/久野印刷株式会社(デザイン)
チラシ A4	ワーロック[栗田卓哉](デザイン)/久野印刷株式会社(デザイン)
図録 A4変形、320頁、和韓中:	ワーロック[栗田卓哉](デザイン)/株式会社西日本新聞印刷

関連事業 □近代美術にどっぷり!?!の二日間 あじび集中講座!

講師:林育淳/リン・ユーチン(台北市立美術館 研究員)、江川佳秀(徳島県立近代美術館 学芸調査課長)、金炫淑/キム・ヒョンスク(徳成女子大学 人文科学研究所 研究教授)、李東拳/イ・ドングク(韓国芸術の殿堂 書芸博物館 学芸室長)

日時:2月15日(土)、16日(日)13:00～17:00

会場:あじびホール

□ギャラリー・ツアー

「学芸員といっしょに作品を見ましよう!」

日時:3月1日(土)、8日(土)13:00～14:00

会場:企画ギャラリー

関連記事

- 2014. 1.27 読売新聞(朝) 「官展にみる近代美術紹介」
- 2014. 1.29 読売新聞(朝) 「《東京・ソウル・台北・長春一官展にみる近代美術》展」
- 2014. 2 書道界 291号 「東京・ソウル・台北・長春一官展にみる近代美術」
- 2014. 2.13 西日本新聞(朝) 中山憲康「日本統治下の《官展》に光」
- 2014. 2.14 読売新聞(朝) 「官展テーマ展覧会開幕」
- 2014. 2.18 読売新聞(朝) ラワンチャイクン寿子「①織細で静けさ漂う世界」
- 2014. 2.19 読売新聞(朝) ラワンチャイクン寿子「②臨場感あふれる構図」
- 2014. 2.22 読売新聞(朝) 「《官展にみる近代美術》」
- 2014. 2.22 読売新聞(朝) ラワンチャイクン寿子「③いてつく空 気追い求め」
- 2014. 2.28 東洋経済日報 ラワンチャイクン寿子「東アジア近代美術の発展を見る」
- 2014. 2.28 和楽新聞 「《官展中の近代美術》特展 在福岡開幕」
- 2014. 3 新美術新聞 ラワンチャイクン寿子「“功罪”表面もつ複雑な形成示す」
- 2014. 3. 3 西日本新聞(夕) 「東京・ソウル・台北・長春一官展にみる近代美術」
- 2014. 3. 6 読売新聞(朝) 「東アジアの官展紹介 近代美術の形成に一役」
- 2014. 3. 7 中国新聞(朝) 道面雅量「日本主導の《官展》検証」
- 2014. 3.10 西日本新聞(朝) ラワンチャイクン寿子「時代の波に消えた絵を探して」
- 2014. 3.13 朝日新聞(朝) 安齋耕一「日本統治下でも独自表現模索」
- 2014. 3.13 西日本新聞(朝) 南陽子「何を描き、何を描けなかったのか」

2014. 4 月刊ギャラリー 「東京・ソウル・台北・長春 官展にみるそれぞれの近代美術」
2014. 5. 8 *The Japan Time* 'Toward the Modernity: Images of Self & Other in East Asian Art Competitions'
2014. 5.15 読売新聞 「東アジアの官展に焦点を当てた129点」
2014. 5.16 東京経済新聞 「東アジアの公募展とは」
2014. 5.21 毎日新聞(夕) 高階秀爾「アジアの官展《近代美術》の一断面を伝える」
2014. 5.22 読売新聞 志賀秀孝「①筆遣いワルツのように」
2014. 5.23 東京新聞 藤田一人「東アジアの歴史的ズレ」
2014. 5.24 読売新聞 志賀秀孝「②《厳冬》の中にじむめくもり」
2014. 5.28 朝日新聞(夕) 山田優「日本とアジア美の歩み再考」
2014. 5.31 読売新聞 志賀秀孝「③神々しさ描く驚くべき技量」
2014. 6 インパクション 195号 北原恵「アート・アクティヴィズム73 《官展にみる近代美術》展 主担当・ラワンチャイクン寿子さんに聞く」pp.110-124
2014. 6 あいだ 213号 高山百合「統治下で求めた《らしさ》の風土」pp.10-15
2014. 6. 2 日本経済新聞(夕) 窪田直子「日本統治時代の美術に光」
2014. 6.15 読売新聞 「近代美術 官展に見る」
2014. 6.26 読売新聞(朝) 鈴木慈子「㊤日本化 青年の鬱屈」
2014. 6.27 読売新聞(朝) 鈴木慈子「㊤自己示すモダン像」
2014. 6.27 東洋経済日報 「東アジア近代美術の歩みとは」
2014. 6.29 読売新聞(朝) 鈴木慈子「㊤伝わる大陸の空気」
2014. 7. 1 和楽新聞 「《官展中の近代美術》特展 在兵庫縣開幕」
2014. 7.10 読売新聞(夕) 木村未来「植民地 葛藤と芸術追及」
2014. 7.11 産経新聞 T生「戦前の東アジア絵画 130点一望」
2014. 7.12 神戸新聞 堀井正純「日本統治下の制度に功罪」
2014. 7.18 産経新聞(夕) 宮下規久朗「官展と近代のアジア美術 一力強き民族の伝統滲む」
2014. 8 芸術新潮 宮下規久朗「展覧会の壺no.4 《官展》が植民地で残したもの」p.147
2014. 8 当代藝術新聞 黄伊涵「東京・首爾・臺北・長春—官展中の近代美術」pp.57-63
2014. 9 西藏寺報第46号 「西藏寺にゆーす」
- 2014.10 静岡台湾友好協会会報 「官展に見る近代美術開催」
- 2014.11.18 *Nikkei Asian Review* "Remembering East Asia's era of shared exhibitions" written by Kim Hyeslin
- 2014.12.01 日本経済新聞(朝) 「回顧2014 美術 地域の再生担う意欲」
- 2014.12.11 読売新聞 「回顧2014 東アジアの中の日本再認識」
- 2014.12.17 朝日新聞(夕) 「回顧2014 美術 抑圧や介入 向き合う試み」

関連放送

2014. 6.15 NHK放送「日曜美術館／アートシーン」

生活とアートV

窓花／中国の切り紙 — 黄土高原・暮らしの造形



関連事業 □ギャラリー・トーク

「窓花のある暮らし」

日時: 10/18(金) 10:00~11:00、

10/19(土) 12:30~13:30

場所: アジアギャラリーB

□映画上映&解説

「ヤオトン造りの小さな取決め」

日時: 11/23(土・祝) 13:00~15:00

場所: あじびホール

□窓花ワークショップ

日時: 11/24(日) 13:00~15:00

場所: 交流スタジオ

関連記事

2013.10.13 西日本新聞(朝) 「農村女性が描く《紙の花》」

2013.11.09 読売新聞(朝) 「中国の切り紙《窓花》」

2014. 1.12 毎日新聞(朝) 「中国・黄土高原地方に伝承—《切り絵》アート紹介」

現代アジアに生きる民俗芸術や大衆芸術を取り上げる「生活とアート」シリーズの5回目として、中国・黄土高原の切り紙を紹介した。

切り紙は中国では剪纸(ジェンジィ)と呼ばれ、春節や婚礼の飾りなど、暮らしのさまざまな場面を彩ってきた。なかでも、窑洞(ヤオトン／横穴式の土の家)の障子窓に貼られ、スタンドグラスのように美しい光を室内に投げこむ「窓花」は、厳しい自然のなかであって、ひととき印象深い切り紙である。そして、こうした豊かな紙の造形を手から手へ、絶えることなく伝えてきたのは、農村で暮らす女性たちだ。

本展では、切り紙や紙の造形だけでなく、それらが生み出された黄土高原の暮らしや生活空間にも焦点を当てることで、より深く人々の暮らしに分け入り、その造形の魅力に迫った。また、会期中には上映会やトーク、切り紙のワークショップなどもおこなった。

会 期 2013年10月18日(金)~2014年1月28日(火)

会 場 アジアギャラリーB

主 催 福岡アジア美術館

企 画 協 力 丹羽朋子、下中菜穂

開 催 日 数 84日

観 覧 者 数 20,816人

出 品 点 数 311点

ポ ス タ ー B2 CITRUS [吉岡恵](デザイン)／(株)インテックス福岡

チ ラ シ A4 CITRUS [吉岡恵](デザイン)／(株)インテックス福岡

図 録 A5変 159頁:丹羽朋子、下中菜穂(編集)／鷹薙麻衣子(デザイン)／株式会社東京印書館[本体]、松井美藝堂[フォルダー](印刷)／株式会社エクスプランテ(発行)

アジアギャラリーでは、所蔵品を通し、アジア美術の近代から現代への流れを概観できるよう展示を行った。同ギャラリー内には、そのほかテーマごとに特設コーナー(A, B)を設け、2~3ヶ月おきに展示替えを行った。平成25年度の特設コーナーで開催した展覧会は下記のとおりである。

■アジアギャラリーA

変身！

2013年4月4日(木)~7月2日(火)

昔から「変身」をテーマにした昔話や物語は、世界中で作られ、語られてきた。現代アジアのアーティストも、登場人物をアニメのヒーローや宇宙人のように変身させたり、七変化する生き物を作り出している。「変身」への願望を表現した作品を展示した。

日本ベトナム国交樹立40周年記念 ベトナム・うるわし・なつかし

2013年7月4日(木)~10月1日(火)

フランスの植民地だったベトナムは、ヨーロッパ文化の影響を受けつつも独自のスタイルを作り上げている。つややかな漆絵や繊細な色使いの絹絵など、ベトナムらしさを感じさせる作品、ベトナム各地の素朴な民衆版画など、どこか郷愁を誘うベトナム絵画を紹介した。

関連記事

2013. 8. 3 毎日新聞(朝) 「30~80年代のベトナム絵画」

《子鹿》のふるさと —フォーク・アートとアジアの美術

2013年10月3日(木)~12月25日(水)

故郷ベンガル地方のフォーク・アートを作品に取り入れたジャミニ・ロイヤ、中国の剪纸を調査したリュ・シェンジョン(呂勝中)やウー・ジエンアン(鄔建安)など、アジア固有の表現に立ち帰り、新しい美術の魅力を作り出した作家の作品を紹介した。

お家へ帰ろう —わたしの居場所をめぐるストーリー

2014年1月2日(木)~4月1日(火)

多くの人々の帰る場所であり、温かさや居心地のよさを象徴する「家」。一方で、近代化の中、古い家屋が壊されたり、戦争や貧困のため生まれ育った土地を追われる人々もいる。「家」にまつわる様々な作品で自分たちの居場所やルーツについて考える展示を行った。

■アジアギャラリーB

ポートレート・ミュージアム

2013年3月22日(金)~7月2日(火)

美術において、永遠のテーマである顔。本展では、写真と絵画を中心に、顔に撮影者または制作者の意識が向けられた「ポートレート=肖像」作品を紹介した。いつもより注意深く観察することで、顔の不思議が紐解かれるような展示を行った。

関連記事

2013.06.18 朝日新聞(朝) 安齋耕一「アートing 収蔵品の見せ方キラリ」

夏休みあじびパレット —あか、あお、きいろってどんな色？

2013年7月4日(木)~10月15日(火)

夏休み企画の「色」をテーマにした展覧会。ひとくちに色と言っても、絵の具の種類やその使われ方、また文化や時代によって、その意味は異なる。本展では、あか、あお、きいろなど、作品を色ごとに展示し、新たな色との出会いを生みだした。

記録としての芸術—近代史を見る眼

2014年1月30日(木)~4月22日(火)

同時代の社会的・政治的イベントや過去の戦争や災害など、それぞれの時代や社会に生きる多くの人々を巻き込んだ大きな出来事に表現をとおして向きあう作家をとり上げた。シンガポール、マレーシア、フィリピン、沖縄などの作品20点を紹介した。

■アジアギャラリーA(特別展示)

第24回福岡アジア文化賞受賞記念 ナリニ・マラニ特別展示

2013年9月12日(木)~2013年12月25日(水)

ナリニ・マラニの福岡アジア文化賞受賞を記念して、特別展示を行った。今回の展示では、彼女が第1回レジデンス作家として、1999年に福岡アジア美術館で滞在制作し、世界各地で上映された「ハムレットマシン」(映像インスタレーション)をはじめ、大作絵画「略奪された岸辺」、近作版画「カサンドラの贈りもの」などを公開した。

関連記事

2013.10.12 読売新聞(朝) 白石知子「暴力許さぬ女性性 福岡アジア文化賞ナリニ・マラニ氏が講演」



交流事業

本事業は、アジア各地で活躍する美術作家や研究者・学芸員等を福岡に招聘し、様々な美術交流事業をおこなうことで、市民がアジアの美術・文化に対する興味を高め、理解を深める一助となることを目指すとともに、アジア美術を取り巻く状況の活性化を目的としている。

美術作家招聘事業



チェン・サイ・ファ・クワン
(シンガポール)

1976年生まれ
シンガポール在住
滞在期間:2013年5月15日～7月23日

□主な活動

①作品制作

博多人形に使われる福岡市七隈産の粘土を入れた竹筒に、真鍮と亜鉛の棒をさして電気を発生させ、そこから生み出した振動音を同じ粘土から制作した土器によって増幅させる、サウンド・インスタレーションの制作を行なった。

②ワークショップ

●6月17日

ワークショップ「箱形カメラ人間になろう！」

参加者:福岡市立愛宕小学校 6年生 134人

場 所:彫刻ラウンジ

③トーク

●5月25日

「滞在者によるトーク～これまでの活動と福岡での予定～」

参加者:一般92人

場 所:あじびホール

●7月20日

「第13回アーティスト・イン・レジデンスの成果展パート1」ギャラリー・トーク

オープニングイベント「大地の音」実演とトーク

参加者:一般71人

場 所:交流ギャラリー

④展覧会

●7月20日～8月5日

「第12回アーティスト・イン・レジデンスの成果展パート1」

観覧者:1452人

場 所:交流ギャラリー



チャリントン・ラチュルチャタ
(タイ)

1982年生まれ
ノンタブリ(タイ)在住。
滞在期間:2013年5月15日～7月23日

□主な活動

①作品制作

恋人を亡くした女性が、福岡を訪れ、日本の伝統的な文化や儀礼を目にし、その哲学や真理に触れることで悲しみから再生するまでを描く映像作品と、映像作品に登場する男女によって、愛の始まりと終わりを象徴する写真作品を制作した。

②ワークショップ

●7月5日

ワークショップ「インサイド／アウトサイド～思いを写真に写そう！」

参加者:福岡市立箱崎清松中学校 2年生 193人

場 所:あじびホール、館内各所

③トーク

●5月25日

「滞在者によるトーク～これまでの活動と福岡での予定～」

参加者:一般92人

場 所:あじびホール

●7月20日

「第13回アーティスト・イン・レジデンスの成果展パート1」

オープニングイベント「超新星の夢」上映とトーク

参加者:一般78人

場 所:交流ギャラリー

④展覧会

●7月20日～8月5日

「第13回アーティスト・イン・レジデンスの成果展パート1」

観覧者数:1452人

場 所:交流ギャラリー



サミール・タウド
(インド)

1978年生まれ
ムンバイ(インド)在住
滞在期間:2013年9月11日~11月19日

□主な活動

①作品制作

八女市の燈籠人形など、からくり人形について調査、撮影し、ムンバイの機械人形と対比させた写真作品を完成させた。また、ストップモーションの手法をつかったアニメーション制作のワークショップを行なった。

②ワークショップ

●11月8日

「空飛ぶアニメーション」

参加者:春日市立春日北中学校2年生 129名

場 所:春日市立春日北中学校

●11月9日

「空飛ぶアニメーション」

参加者:古賀市アートバス(古賀東中学校)13名

場 所:会議室、博多リバレイン フェスタスクエアほか

③トーク

●9月28日

「滞在者によるトーク~これまでの活動と福岡での予定~」

参加者:一般53名

場 所:交流スタジオ

●11月16日

「第13回アーティスト・イン・レジデンスの成果展パート2」ギャラリー・トーク

参加者:一般58人

場 所:交流ギャラリー

④展覧会

●11月16日~12月2日

「第13回アーティスト・イン・レジデンスの成果展パート2」

観覧者:982人

場 所:交流ギャラリー



バーサンジャブ・チョジリアブ
(モンゴル)

1977年生まれ
ウランバートル(モンゴル)在住
滞在期間:2013年9月11日~11月19日

□主な活動

①作品制作

伝統的なモンゴル画の技法を用いて、モンゴルや福岡の人々の生活や風景をテーマに作品制作を行ない、絵画13点を完成させた。

②ワークショップ

●10月31日

「草原の暮らしを想像して描こう!」

参加者:西南学院小学校 5年生 63名

場 所:西南学院小学校

③トーク

●9月28日

「滞在者によるトーク~これまでの活動と福岡での予定~」

参加者:一般53名

場 所:交流スタジオ

●9月28日

参加者:福岡市立有田小学校 3年生 63名

場 所:あじびホール

●11月16日

「第13回アーティスト・イン・レジデンスの成果展パート2」ギャラリー・トーク

参加者:一般58人

場 所:交流ギャラリー

④展覧会

●11月16日~12月2日

「第13回アーティスト・イン・レジデンスの成果展パート2」

観覧者:982人

場 所:交流ギャラリー

⑤地域交流イベント

●10月19日

「博多リバレイン灯明」

場 所:博多リバレイン フェスタスクエア

研究者・学芸員等招聘事業



キム・ヒョンスク
(韓国)

1958年生まれ
ソウル在住
滞在期間:2014年1月10日～2月20日

□主な活動

- ①調査・研究
福岡トリエンナーレや当館所蔵の韓国作品について、調査・研究した。
- ②教育プログラム
・美術講座
 - 2月16日
「朝鮮美術展覧会の画家たち」
参加者:一般70人
場 所:あじびホール
 - 2月20日
「あじび美術講座2014
キム先生の韓国美術講座ーアジア美術展から福岡トリエンナーレへ」
参加者:一般35人
場 所:あじびホール



ニ・クン／倪昆
(中国)

1972年生まれ
重慶(中国)在住
滞在期間:2014年2月10日～3月23日

□主な活動

- ①調査・研究
アジアにおけるアーティスト運営のアート・スペースに関する調査・研究を行った。
- ②教育プログラム
・美術講座
 - 2月14日
「あじび美術講座2014 重慶～福岡・北九州 アーティスト・ラン・スペースのいま」
参加者:一般49人
場 所:あじびホール
 - 3月23日
トーク&上映会「重慶のビデオアート」
参加者:一般47人
場 所:あじびホール

他の機関から助成等を受けて自費で福岡に滞在し、作品制作や調査研究を行うことを希望するアジアの美術作家やアジア美術の研究者・学芸員に対して、制作や調査活動を支援した。



チウ・フイメイ／邱惠眉
(台湾)

1987年生まれ
台北(台湾)在住
滞在期間:2013年9月10日～12月6日

台湾現代芸術基金会からの助成で来日。当館の招聘事業、展覧会事業等について研修した。

「博多リバレイン灯明」

(「第19回博多灯明ウォッチング2013」同時開催)

10月19日(土)18:00～21:00

場 所:博多リバレイン フェスタスクエア

博多リバレインが毎秋開催している「博多リバレイン灯明」に、美術作家招聘事業で滞在していたバーサンジャブ・ジョジリアブ(モンゴル)が参加した。モンゴルの風景や文化をテーマに、ゲルとラクダ、馬頭琴、馬にのる人物を下絵として描き、数千個の灯明を博多リバレイン1階のフェスタスクエアに設置した。



教育普及事業

1 体験学習、博物館実習等

団体見学				住吉小学校	5年生	115人	2月14日(図工)
北九州市立志徳中学校	2年生	33人	5月24日(総合・特活・教科)	住吉小学校	3年生	88人	2月18日(図工)
北九州市立東谷中学校	2年生	6人	5月31日(総合・特活・教科)	糸島市立前原東中学校	特別支援学級	16人	2月25日
北九州市立浅川中学校	2年生	130人	6月7日(総合・特活・教科)	北九州市立篠崎中学校	2年生	11人	3月4日
和白丘中学校	1年生	251人	6月13日(美術)	北九州市立霧丘中学校	2年生	31人	3月7日
愛宕小学校	6年生	139人	6月17日(図工・総合)	南当仁小学校	4年生	116人	3月10日(図工)
原北中学校	1年生	258人	7月2日(総合)	北九州市立思永中学校	2年生	23人	3月11日
箱崎青松中学校		208人	7月5日(総合)	北九州市立菊陵中学校	2年生	16人	3月11日
原中学校	特別支援学級	8人	7月11日(総合)	朝倉市立甘木中学校	2年生	228人	3月18日
千早小学校	6年生	105人	9月6日(図工)				
席田小学校	6年生	77人	9月6日(図工)	職場体験学習			
筥松小学校	6年生	93人	9月6日(図工)	東住吉中学校		5名	(8月20日、21日)
南当仁小学校	6年生	108人	9月9日(図工)	博多中学校		4名	(8月20日～22日)
金武小学校	6年生	103人	9月9日(図工・総合)	東光中学校		5名	(8月21日～23日)
飯倉中央小学校	6年生	54人	9月10日(図工)	雙葉中学校		4名	(8月27日、28日)
横手小学校	6年生	69人	9月10日(図工)	那珂中学校		5名	(9月4日～6日)
能古小学校	6年生	13人	9月10日(図工)	福岡中学校		1名	(9月10日～12日)
三苦小学校	6年生	129人	9月12日(図工)	平尾中学校		3名	(9月11日、12日)
和白小学校	6年生	99人	9月12日(図工)	片江中学校		2名	(9月11日、12日)
曲淵小学校	5,6年生	12人	9月12日(図工)	宮竹中学校		5名	(9月18日、19日)
城原小学校		81人	9月13日(図工)	城西中学校		3名	(9月25日、26日)
柏原小学校		105人	9月13日(図工)	玄洋中学校		5名	(9月25日、26日)
今津小学校	5年生	19人	9月30日(図工)	警固中学校		5名	(10月10日、11日)
有田小学校	3年生	101人	10月15日(総合)				
福岡女学院中学校	1年生	71人	10月25日	博物館実習(5月から10月までの中で10日間程度)			
南福岡特別支援学校		10人	10月15日(総合)	福岡大学		1人	
フクオカインターナショナルスクール		22人	11月8日	西南学院大学		1人	
久留米市立西国分小学校		166人	11月11日	筑紫女学園大学		1人	
那珂中学校	特別支援学級	6人	12月3日(総合)	九州産業大学		1人	
福岡中央特別支援学校	高等部	3人	12月19日(総合)	福岡教育大学		1人	
北九州市立千代中学校	2年生	74人	1月31日	佐賀大学		1人	
住吉小学校	4年生	82人	2月7日(図工)				
住吉小学校	6年生	90人	2月13日(図工)	インターンシップ			
南片江小学校	6年生	81人	2月13日(図工)	福岡県立玄界高等学校		1人	(8月21日～23日)

教育普及事業

2 とびだせ！アジア美術館事業

心身の疾病や障がい、保護の必要性などの理由から来館自体が非常に困難な子どもたちを対象に、入院・入所する施設内で、所蔵品展示やトークを行い、アジアの美術・文化に触れる機会を提供した。

- 屋形原特別支援学校
- 2月25日(火)～28日(金)
- 作品展示: 絵画6点

福岡ミュージアムウィーク

美術館・博物館の役割である「出会いの場」「知識の場」「発見の場」をより多くの人々に知ってもらうため、5月18日の「国際博物館の日」を記念して福岡市内の10施設(福岡市博物館、福岡市美術館、福岡アジア美術館、福岡県立美術館、福岡市埋蔵文化財センター、「博多町家」ふるさと館、はかた伝統工芸館、王貞治ベースボールミュージアム、九州産業大学美術館、西南学院大学博物館)が連携し、5月18日から26日まで様々な催しを開催した。

福岡アジア美術館の催し

講演会

デヴィ夫人トークショー
5月18日(土)14:00~15:30
参加者:一般200人
場 所:彫刻ラウンジ

ギャラリーツアー

5月20日(月)、21日(火)、23日(木)、24日(金)
参加者:一般25人
場 所:アジアギャラリー

バックヤードツアー

5月19日(日)、26日(日) 14:00~15:00
参加者:一般34人
場 所:バックヤード

アジアの絵本と紙芝居の読み聞かせ

5月19日(日)、25日(土)、26日(日)
①11:30~12:00 ②13:30~14:00
参加者:未就学児と保護者92人・37組

滞在作家によるトーク

5月25日(土)14:00~16:00
講 師:チャリントン・ラチュルチャタ(タイ)
チェン・サイ・ファ・クワン(シンガポール)
場 所:あじびホール(8F)
参加者:一般92人

その他

- アジアギャラリー観覧料無料
- 4館を巡るスタンプラリー
- カフェ、ショップでの割引サービス
- 福岡シティーブバス「ぐりーん」で巡るミュージアムガイドツアー

5月21日(火)12:00~13:50
参加者:応募者10人
場 所:アジアギャラリー

ボランティア活動

平成24年10月にボランティアが新規加入して各グループのメンバーも増え、より活発な活動がおこなわれた。7月に「初の参加型研修会『ボランティア・トーク』—ざっくばらんに語るボランティア活動—」を開催し、10月には、ボランティア研修旅行として熊本市現代美術館を訪問して熊本市現代美術館ボランティアとの交流をおこなった。年度末には、隔年で実施している登録更新をおこなった。

活動内容およびグループ別のべ人数(一人が複数のグループで活動可)

平成25年4月現在

活動区分	活動内容	計
案内・解説	アジアギャラリーの作品解説や施設案内	79
図書資料	図書資料の整理・修理、配架	71
学芸資料	新聞記事のスクラップ、学芸関連使用の整理補助	58
展覧会情報	展覧会のチラシの整理、雑誌掲載記事の整理	24
広報	美術館広報誌や特別企画展などの印刷物の発送	33
読み聞かせ	絵本や紙芝居の読み聞かせ	39
活動支援	ボランティア向けブログの作成やメール配信、研修や親睦会の企画	15
交流	滞在美術作家・研究者の活動や地域交流イベントなどのサポート	252
のべ人数		571
ボランティア登録者数		252

活動

【案内・解説】

4月1日より活動開始。前年度の12月～3月の実地研修を終えた新規ボランティア44人が新たに実践メンバーに加わり、「スキルアップ」を目標に、休館日を除く毎日(13:00～16:00)施設案内や作品解説をおこなった。5月18日～26日のミュージアムウィーク期間中に、アジアギャラリーの来場者を対象にしたギャラリーツアー(4回)やグリーンバスの利用者向けに作品解説(1回)をおこなった。毎月最終土曜日にミーティングを開催した。

【図書資料】

4月1日より活動開始。「ボランティア相互の親睦と蔵書点検」を目標に、おもな活動日である毎月10日・20日およびそれ以外の日程にも随時(毎月2日以上、1日につき2時間以上)活動をおこなった。また、開館以来なされていなかった蔵書点検を司書の指導のもとに実施した(説明会:5月19・20日、6月9・10日、以後、順次点検を実施)。4月10日、10月10日、11月25日にグループミーティング、3月8日に親睦会を開催した。

【学芸資料】

4月1日より活動開始。随時(毎月2日以上、1日につき2時間以上)活動をおこなった。今年度の活動目標は「元気にたのしく、コツコツと」。毎月16日にグループミーティングを開催して活動状況の確認をおこなうとともに、館の事業についても情報交換をおこなった。

【展覧会情報】

4月4日より活動開始。第1・3木曜日および第2・4土曜日を中心に活動をおこない、活動後には毎回ミーティングを開催した。今年度は「情報のデジタル化」を目標に、ハガキやチラシ、雑誌などの展覧会情報をパソコン入力し、データ化をはかった。

【広報】

4月11日から活動開始(ミーティング開催)。特別企画展(3件)および広報誌「あじびニュース」(4件)の発送作業を行った。また、目標を「ホテルに広報して観光客を呼び込もう!」とし、「展覧会のご案内」やポスターをホテルに配布するなどの広報活動もおこなった。

【読み聞かせ】

4月10日より活動開始。「お客様に満足していただけるような読み聞かせを」を目標に、4つのグループに分かれて毎月第2火曜日に活動をおこなった(各日2回開催)。また、7月26日～8月18日の「おいでよ! 絵本ミュージアム2013」開催中には、毎月土曜日に来場者向けに読み聞かせをおこなった(7回実施)。昨年度から新たに始めた活動グループであるため、4月9日、6月30日、9月10日、12月8日、3月11日にミーティングを開催し、アンケートをおこなうなどしてよりよい活動の仕方について協議した。



第15回ボランティア研修会



団体案内デビュー(案内・解説ボランティア)

【活動支援】

4月4日より活動開始。メンバーやグループ同士のつながりを強化しボランティア活動の充実を図るため、研修会や催事などを企画・実施した。また、連絡当番ミーティングを開催して各グループの活動の共有をはかった。今年度の目標は「研修旅行の企画と研修会のあり方を見なおす」。これまでの座学とはちがった参加型研修会や他館のボランティアとの交流などをおこなったほか、ブログ記事掲載のため、今年度着任した新館長、副館長へのインタビューもおこなった。

(活動ボランティア主催の催事)

◇連絡当番ミーティング

4月20日、9月21日、3月15日

◇研修会

4月20日 第14回「国際交流担当ーアジアの通訳・翻訳の仕事と現場」
講師：大野和則

7月27日 第15回「初の参加型研修会『ボランティア・トークーざっくばらんに語るボランティア活動ー』
ボランティア活動の中でやりがいを感じたことや楽しかったこと、活動に関する悩み、活動を楽しく続ける秘訣などについてグループディスカッションした。

◇歓迎会

5月25日 第Ⅰ期レジデンス・プログラム

9月28日 第Ⅱ期レジデンス・プログラム

◇研修旅行

10月20日 熊本市現代美術館訪問
「Welcome to the Jungle 熱々東南アジアの現代美術」展観覧と熊本市現代美術館ボランティアとの交流会ほか

◇交流会(ティーパーティー)

12月21日

※会場はすべて会議室



館長インタビュー(活動支援ボランティア)

【交流】

7月26日～8月18日「おいでよ！ 絵本ミュージアム2013」の会場内で見守りや誘導などを行った。10月19日に「博多リバレイン灯明」の設置作業などの支援をおこなった。

□その他

◇総会 12月21日 会場：交流スタジオ

おもな議題：活動報告と年度末におこなう登録更新、第5回福岡トリエンナーレ予告など

◇ボランティア向けギャラリートーク

アジアギャラリーの展示替え毎に担当学芸員がギャラリートークをおこなった(1日2回)。



博多リバレイン灯明の設置(交流ボランティア)

あじびニュース



Vol.52 2013.4.1発行

- 2013年展覧会スケジュール
- ポートレイト・ミュージアム
- 変身！
- 2013年レジデンス・プログラムのご紹介
- 「福岡ミュージアムウィーク2013」開催
- のぞいてみよう！福岡ミュージアム ポータルサイト
- 私の逸品—原田真紀さん
- 福岡アジア美術館インフォメーション2013年4月—6月



Vol.53 2013.7.1発行

- おいでよ！絵本ミュージアム2013
- ベトナム・うるわし・なつかし
- 夏休み☆あじびパレット
- どうなるFT5？教えて、学芸課長！
- あじび学芸員オススメのアジアのグルメ&グッズ
- 案内・解説ボランティア3期生始動！
- アーティスト・イン・レジデンスの成果展パート1
- 私の逸品—デヴィ夫人
- 大盛況！デヴィ夫人トークショー
- 福岡アジア美術館インフォメーション2013年7月—9月



Vol.54 2013.10.1発行

- スタジオジブリ・レイアウト展
- 窓花/中国の切り紙
- 《子鹿》のふるさと
- ナリニ・マラニの作品を特別展示中！
- この秋滞在のアーティストにご注目！
- “第5回福岡トリエンナーレ”への道・南アジア編
- 私の逸品—三好剛平さん
- あじび学芸員も登場！ konya2023 talk
- 福岡アジア美術館インフォメーション2013年10月—12月



Vol.55 2014.1.1発行

- 官展にみる近代美術
- お家へ帰ろう
- 記録としての芸術
- 速報！ 第5回福岡トリエンナーレ
- “第5回福岡トリエンナーレ”への道：東アジア編
- 第13回アーティスト・イン・レジデンスの成果展パート2 報告
- レジデンス・プログラム第三期
- 私の逸品—西岡純一さん
- チウ・ホエイメイさん、レジデンスを終えて
- 福岡アジア美術館インフォメーション2014年1月—3月

規格 A4 8ページ 企画・発行 福岡アジア美術館 編集 木下貴子(CXB)
デザイン 荻原晋一(n4g.jp) 和文英訳 ステファニー・オリ

リーフレット

平成26年度展覧会リーフレット

2014.3.31発行

- 展覧会のご案内2014年4月—2015年3月
- 交流ギャラリー
- レジデンス事業のご案内

企画

幅594×縦210mm(両面カラー・6つ折り)

企画・発行 福岡アジア美術館

デザイン 作本知枝美

ホームページ

<http://faaam.city.fukuoka.lg.jp/>

コンテンツ

美術館について／基本理念、活動案内、施設概要、美術館ができるまで、アジア美術館の歩み

コレクション／収集方針、主な作品、所蔵品検索

美術館だより／最新トピックス、バックナンバー

利用案内／利用案内、交通案内、館内マップ、FAAM CAFÉ

出版物・グッズ／出版物・グッズ、展覧会図録ほか、広報誌、オリジナルグッズ、PDFデータ(事業報告書ほか)

展覧会案内／展覧会最新情報、スケジュール

イベント案内／最新のイベント、過去のイベント

レジデンス事業／今年度の滞在者、過去の滞在者、事業報告書、募集要項



所藏作品

新所蔵作品数 H25年度

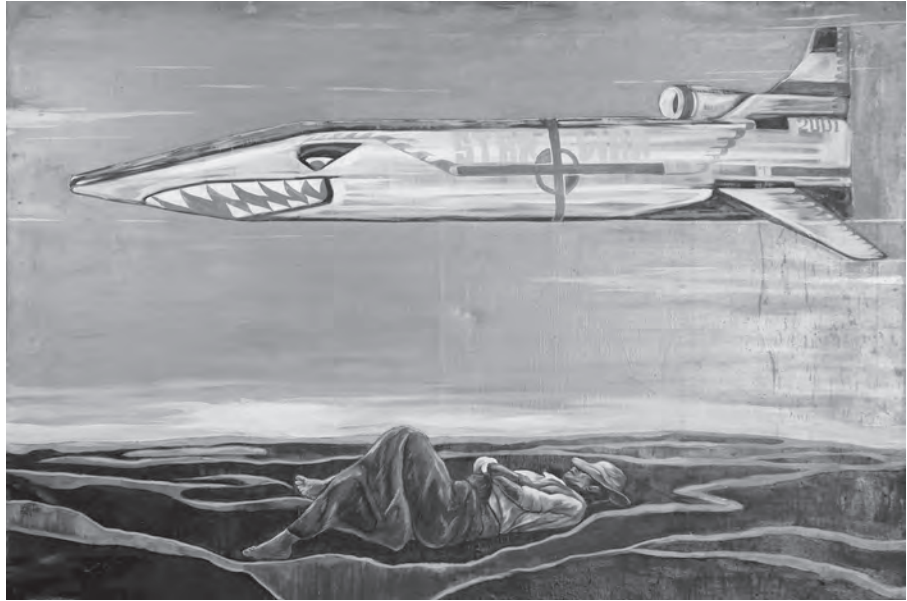
	購入	寄贈	合計
絵画	11	10	21
版画	36	10	46
映像	1	0	1
その他	3	0	3
合計	51	20	71

番号 制作者
タイトル
制作年
ジャンル 素材
サイズ(cm) 制作地

新所蔵作品一覧

- | | | | | | | | |
|---|---|----|---|----|--|----|---|
| 1 | ホウ・ルル・シュウズ(候淑姿)
越境／文化アイデンティティー
アジアから来た花嫁の歌(Ⅱ):黄
氏戀とその娘(A)(B)
2009
写真(インクジェット・プリント)
100.0×100.0 台湾 | 10 | フラ・トゥ
ラングーン文理科大学と銀の月
2008
絵画 油彩・画布
76.0×76.0 ミャンマー | 20 | タリン・パディ
環境への暴力
2009
版画 木版・紙
58.9×41.0 インドネシア | 29 | タリン・パディ
地位は汚職のための機会ではない
2009
版画 木版・紙
60.2×40.6 インドネシア |
| 2 | ホウ・ルル・シュウズ(候淑姿)
彼方を望んで:アジアから来た花
嫁の歌(Ⅲ):ベトナムの黄氏戀の
家族(A)(B)
2009
写真(インクジェット・プリント)
100.0×100.0 台湾 | 11 | ティト
時に起こること
2003
絵画 油彩・画布
91.0×86.0 ミャンマー | 21 | タリン・パディ
お前の資本なしに私たちは栄え
る
2009
版画 木版・紙
57.6×41.0 インドネシア | 30 | タリン・パディ
明日がよりよい日になるように
2009
版画 木版・紙
60.5×41.1 インドネシア |
| 3 | ホウ・ルル・シュウズ(候淑姿)
彼方を望んで:アジアから来た花
嫁の歌(Ⅲ):ベトナムの黄氏戀の
家(A)(B)
2009
写真(インクジェット・プリント)
100.0×100.0 台湾 | 12 | ティト
話
2006
絵画 油彩・画布
86.0×117.0 ミャンマー | 22 | タリン・パディ
民衆は一丸となって環境を破壊
する工場を拒否する
2009
版画 木版・紙
61.2×40.4 インドネシア | 31 | タリン・パディ
選ぶか選ばないか、それが選択だ
2009
版画 木版・紙
60.5×40.6 インドネシア |
| 4 | 山城知佳子
あなたの声は私の喉を通った
2009
ビデオ
8分40秒 日本 | 13 | ポウ・ボウ
点灯、消灯、消滅
1986
絵画 油彩、エナメル・画布、木版
142.4×71.1 ミャンマー | 23 | タリン・パディ
泉を守れ
2009
版画 木版・紙
61.1×40.4 インドネシア | 32 | タリン・パディ
同じ公約、同じ証拠
2009
版画 木版・紙
60.8×40.6 インドネシア |
| 5 | サン・ミン
コンピューター・コントロール・
システム
1985
絵画 油彩・画布
76.0×115.0 ミャンマー | 14 | タリン・パディ
終わることのない勇気
2007
版画 木版・綿布
122.3×242.4 インドネシア | 24 | タリン・パディ
クドゥン山を守れ
2009
版画 木版・紙
61.6×40.2 インドネシア | 33 | タリン・パディ
国を貫入するだけの民主主義
を続けるな
2009
版画 木版・紙
58.8×40.8 インドネシア |
| 6 | サン・ミン
柔軟な対応
1989
絵画 アクリル・画布
84.0×56.0 ミャンマー | 15 | タリン・パディ
採掘は生活をおびやかす
2010
版画 木版・綿布
89.6×259.7 インドネシア | 25 | タリン・パディ
セメント工場に反対する農民へ
の政府機構は人権の蹂躪だ
2009
版画 木版・紙
59.7×40.2 インドネシア | 34 | タリン・パディ
あなたはもう平等? 女性の政
治権利を!
2009
版画 木版・紙
60.4×40.5 インドネシア |
| 7 | キン・スウェー・ウィン
窓2
1987
絵画 油彩・画布
61.0×45.0 ミャンマー | 16 | タリン・パディ
血を流すことなく我が国を作れ
1999
版画 木版・紙
52.0×40.1 インドネシア | 26 | タリン・パディ
政治は王朝にあらず
2009
版画 木版・紙
60.7×40.6 インドネシア | 35 | タリン・パディ
苦しみも喜びも分かち合おう
2010
版画 木版・紙
42.2×29.9 インドネシア |
| 8 | キン・スウェー・ウィン
飛び込む人
2000
絵画 油彩、紙(コラージュ)・画布
61.0×91.5 ミャンマー | 17 | タリン・パディ
我々はもう税金を払わない
2003
版画 木版・紙
44.8×28.1 インドネシア | 27 | タリン・パディ
法律は牢獄にあらず
2009
版画 木版・紙
60.7×40.4 インドネシア | 36 | タリン・パディ
土地の権利は民衆の史上権
2012
版画 木版・紙
41.8×29.9 インドネシア |
| 9 | フラ・トゥ
毒草に水をやる
1985/2007
絵画 油彩・画布
88.0×58.0 ミャンマー | 18 | タリン・パディ
ストライキだ!
2003
版画 木版・紙
45.2×28.0 インドネシア | 28 | タリン・パディ
圧力抜きで、自分を信じて、自由
に選べ
2009
版画 木版・紙
60.5×40.4 インドネシア | 37 | タリン・パディ
2006年カレンダー(1-2月):平等
の目覚め
2005
版画 木版・紙
58.1×50.8 インドネシア |
| | | 19 | タリン・パディ
瀕死の地球を見捨てるな!
2005
版画 木版・紙
58.2×50.9 インドネシア | | | | |

サン・ミン
コンピューター・コントロール・システム
1985年
油彩・画布
76.0×115.0 cm



- | | | | | | | | |
|----|---|----|---|----|--|----|--|
| 38 | タリン・パディ
2006年カレンダー(3-4月): 女性の自立
2005
版画 木版・紙
57.9×51.1 インドネシア | 46 | モハマド・ユスフ(ウチュブ)
2011年カレンダー(5-6月): 苦しみも喜びも分かち合おう
2010
版画 木版・紙
42.0×29.9 インドネシア | 55 | ゼーヤ
牢屋シリーズ
2003
平面 コンピューター・グラフィック
(デジタル・データ)
ミャンマー(寄贈) | 64 | ナリニ・マラニ
カサンドラの贈りもの3a: アイデンティティの臨界
2009
版画 顔料インクによるデジタル印刷・ハーネミュール竹紙
44.5×66.1 インド(寄贈) |
| 39 | タリン・パディ
2006年カレンダー(5-6月): 瀕死の地球を見捨てるな!
2005
版画 木版・紙
58.1×50.8 インドネシア | 47 | モハマド・ユスフ(ウチュブ)
2011年カレンダー(7-8月): みんな仲間
2010
版画 木版・紙
41.7×29.6 インドネシア | 56 | カムスック・ケミンムアン
野生の象たち
1993
絵画 油彩・画布
92.0×112.0 ラオス(寄贈) | 65 | ナリニ・マラニ
カサンドラの贈りもの3b: エロス
2009
版画 顔料インクによるデジタル印刷・ハーネミュール竹紙
44.5×66.1 インド(寄贈) |
| 40 | タリン・パディ
2006年カレンダー(7-8月): 農に注意! 高利の借財で貧乏になる
2005
版画 木版・紙
58.0×50.9 インドネシア | 48 | モハマド・ユスフ(ウチュブ)
2011年カレンダー(9-10月): 芸術の女神サラスワティー
2010
版画 木版・紙
42.0×29.8 インドネシア | 57 | ハジャ・マスナ・ビンテ・ハジ・ルシン
フルネイの伝統音楽隊
1988
絵画 油彩・画布
108.0×122.0 フルネイ(寄贈) | 66 | ナリニ・マラニ
カサンドラの贈りもの4: 子ども時代の恐れ
2009
版画 顔料インクによるデジタル印刷・ハーネミュール竹紙
44.5×66.1 インド(寄贈) |
| 41 | タリン・パディ
2006年カレンダー(9-10月): 農民の目によろこ
2005
版画 木版・紙
58.0×50.9 インドネシア | 49 | モハマド・ユスフ(ウチュブ)
2011年カレンダー(11-12月): ちょっと飲みに行くだけの人生
2010
版画 木版・紙
41.7×29.8 インドネシア | 58 | マーク・ジャスティニアニー
洗礼
1996
絵画 油彩・板
108.0×47.5 フィリピン(寄贈) | 67 | ナリニ・マラニ
カサンドラの贈りもの5a: カサンドラの贈りもの
2009
版画 顔料インクによるデジタル印刷・ハーネミュール竹紙
44.5×66.1 インド(寄贈) |
| 42 | タリン・パディ
2006年カレンダー(11-12月): 我々は暴力に反対する
2005
版画 木版・紙
58.2×50.9 インドネシア | 50 | バン・ジョンア
すべりやすい
2005
絵画 アクリル・画布
112.1×145.5 韓国 | 59 | スタンリー・キリンデ
ジャータカ物語
1986
絵画 油彩・画布
95.2×145.8 スリランカ(寄贈) | 68 | ナリニ・マラニ
カサンドラの贈りもの5b: つらい思い出
2009
版画 顔料インクによるデジタル印刷・ハーネミュール竹紙
44.5×66.1 インド(寄贈) |
| 43 | モハマド・ユスフ(ウチュブ)
兄弟の地
2011
版画 木版・綿布
122.0×244.7 インドネシア | 51 | バン・ジョンア
こうやって生きています
2007
絵画 アクリル・画布
130.3×162.2 韓国 | 60 | イメルダ・カヒーベ=エングーヤ
祖先 VII
1979
版画 リトグラフ、シルクスクリーン、型押し・紙
56.0×43.0 フィリピン(寄贈) | 69 | ナリニ・マラニ
カサンドラの贈りもの6: 戦争ゲーム
2009
版画 顔料インクによるデジタル印刷・ハーネミュール竹紙
44.5×66.1 インド(寄贈) |
| 44 | モハマド・ユスフ(ウチュブ)
2011年カレンダー(1-2月): 万人のための科学
2010
版画 木版・紙
41.7×30.0 インドネシア | 52 | サン・ミン
団結は力なり
1973
絵画 油彩・画布
83.0×61.0 ミャンマー(寄贈) | 61 | イ・デフ・プトウ・モコ
題不詳[版画]
1994年頃
絵画 アクリル・画布
41.5×60.5 インドネシア(寄贈) | 70 | ナリニ・マラニ
カサンドラの贈りもの7: 触覚
2009
版画 顔料インクによるデジタル印刷・ハーネミュール竹紙
44.5×66.1 インド(寄贈) |
| 45 | モハマド・ユスフ(ウチュブ)
2011年カレンダー(3-4月): フリーダ・カーロ
2010
版画 木版・紙
42.0×29.9 インドネシア | 53 | キン・スウェー・ウィン
1980年11月15日
1981
絵画 油彩・画布
87.0×58.5 ミャンマー(寄贈) | 62 | ナリニ・マラニ
カサンドラの贈りもの1: 記憶
2009
版画 顔料インクによるデジタル印刷・ハーネミュール竹紙
44.4×66.1 インド(寄贈) | 71 | ランブー・カンサノウ
熱心な清掃人
2012
絵画 油彩・画布
300.0×200.0 タイ(寄贈) |
| | | 54 | フラ・トウ
家に帰る
1993
絵画 油彩・画布
61.0×61.0 ミャンマー(寄贈) | 63 | ナリニ・マラニ
カサンドラの贈りもの2: 見つめる少女
2009
版画 顔料インクによるデジタル印刷・ハーネミュール竹紙
44.5×66.1 インド(寄贈) | | |

①

貸出先:三重県立美術館

展覧会名:アジアをつなぐ一境界を生きる女たち 1984-2012

展覧会会期:2013年4月13日(土)~6月23日(日)

貸出点数:62点

入場者数:5,313人

作者	作品名
ハン・ティ・ファム	家族を再定義する #1 ~ #9
イメルダ・カヒーベ=エンダーヤ	ゴルゴタの地へ
エン・フェウチュウ(楊惠珠)	女性の役割
キムスージャ	演繹的オブジェ
アマンダ・ヘン	もうひとりの女 No.1 ~ No.14
ナリニ・マラニ	略奪された岸辺
ナヴジョート、ラジクマール、シャンティバイ、ガスラムの共同制作	もうひとつの実践方法—世界をいかに作るか
イン・シウジェン(尹秀珍)	スーツケース2001
アイシャ・ハーリド	模様のある沈黙
アイシャ・ハーリド	沈黙
アイシャ・ハーリド	形×模様 #1
アイシャ・ハーリド	形×模様 #2
アイシャ・ハーリド	アムステルダム #1
アイシャ・ハーリド	ビーナスの誕生
アスミナ・ランジット	髪ワープ:宇宙を編む旅(編んだ髪)
アスミナ・ランジット	髪ワープ:宇宙を編む旅(素描1~素描6)
アスミナ・ランジット	髪ワープ:宇宙を編む旅—私を私のままに
ピナリー・サンピタック	乳房の塔
リン・ティエンミャオ(林天苗)	卵 #3
アイシャ・マリアム・ドゥッラーニー	名誉の名のもとに
ハビーバ・ザマン・ハーン	成長する関係 2
シルパ・グプタ	無題
ナズリー・ライラ・モンスール	ルイス・カーンの夢:ラブンツェル
ナズリー・ライラ・モンスール	使える絵画:食卓
ニルーファル・チャマン	結ばれるもの1
ニルーファル・チャマン	ねじられるもの2
ニルーファル・チャマン	結ばれるもの3
シャージア・シカンダル	SpiNN
ザリナ・ハシミ	多くの部屋のある家1 部屋がいっぱいある家に住んでいた
ザリナ・ハシミ	多くの部屋のある家2 部屋から部屋へと歩く
ザリナ・ハシミ	多くの部屋のある家3 壁にさわりながら
ザリナ・ハシミ	多くの部屋のある家4 絶望のいろんな境界
ジャルハージャブ・ムンフツェツェグ	沈黙シリーズ 1 ~ 2
ダグヴァサンブー・ウーリーーンツヤ	わたしは風
ダグヴァサンブー・ウーリーーンツヤ	天の窓

②

貸出先:森美術館
 展覧会名:LOVE展:アートにみる愛のかたち
 展覧会会期:2013年4月25日(木)~9月1日(日)
 貸出点数:1
 入場者数:429,514人

作者	作品名
1 ジャン・シャオガン(張暁剛)	若い娘としての母と画家

③

貸出先:熊本市現代美術館
 展覧会名>Welcome to the Jungle—熱々! 東南アジアの現代美術
 展覧会会期:2013年10月5日(土)~11月24日(日)
 貸出点数:27
 入場者数:3,937人

作者	作品名
1 トゥン・ウィン・アウン	人間と仮面
2 イェー・ミン	仮面 96
3 イェー・ミン	精霊ナツ神(カーリー女神)
4 ヤウ・ピーリン	庭を歩く I
5 ヤウ・ピーリン	結婚する二人 V
6 ヤウ・ピーリン	浴室 II
7 スーン・ヴァナラ	楽器風 I
8 スーン・ヴァナラ	楽器風 III
9 スーン・ヴァナラ	楽器風 IV
10 ディン・ティ・タン・ブーン	愛—自由
11 ディン・ティ・タン・ブーン	美しい瞬間が現れる
12 ディン・ティ・タン・ブーン	ひとりになるとき
13 ヘリ・ドノ	バッド・マン(悪党)
14 リー・ダラプー	メッセンジャー
15 ディン・キュー・レ	南シナ海ピシュクン
16 ティファニー・チュン	至福への近道
17 ティファニー・チュン	ゴルフコースでライムの果実の箱を引く
18 ダダン・クリスタント	ゴルフボール
19 バンヤー・ウィチンタナサーン	魂の旅
20 モンティエン・ブンマー	喜捨
21 モンティエン・ブンマー	「喜捨」のためのスケッチ(A)(B)(C)
22 プラトゥアン・エームチャルーン	はずの葉の中の生の反映

作者	作品名
23 カム・タン・サリアンカム	時間(カラベラ)
24 サン・ミン	競争
25 カンハ・シクナウォン&ドーンディ・カンタヴィライ	初期短編アニメ集
26 ジュー・チュンリン	あそびにいこうよ! 1、2
27 ホー・ズーニエン	ウタマー我こそは歴史なり

④

貸出先:パリ市立近代美術館

展覧会名:ゼン・ファンジ

展覧会会期:2013年10月17日(木)~2014年2月16日(日)

貸出点数:1

作者	作品名
1 ゼン・ファンジ(曾梵志)	肉:臥

⑤

貸出先:国立国際立美術館

展覧会名:郭徳俊 ニコツとシェー 1960年代絵画を中心に

展覧会会期:2014年2月1日(土)~5月11日(日)

貸出点数:1

入場者数:54,259人

作者	作品名
1 郭徳俊(クァク・ドッチュン)	自画像 78

所蔵作品

3 修復一覧

作者	作品名
1 コー・ナッボン(高楽範)	ポートレイト・ミュージアム

所蔵作品

4 所蔵品等の掲載一覧

*以下、発行が確認されたものに限る。

2013.10.1 林洋子編『芸術教養シリーズ8 近現代の芸術史 造形篇Ⅱ アジア・アフリカと新しい潮流』京都造形芸術大学東北芸術工科大学出版局藝術学舎

作者	作品名
1 ファン・リジュン(方力鈞)	シリーズ 2 No.3
2 ルオ三兄弟(羅氏三兄弟)	我、北京天安門を愛す #29
3 リュ・シェンジョン(呂勝中)	○

2013.10.15 頼明珠「臺灣美術史中的母性意象」『ASDC e-Newsletter』第4期、中央研究院數位文化中心(Academia Sinica Digital Center)、台北、ウェブ 2014.06.27

作者	作品名
1 チェン・ジン(陳進)	サンティモン社の女

2014.3 김현숙, “후쿠오카아시아미술관에서 무엇을 배워야 하는가” 아트인컬처 (キム・ヒヨンスク「福岡アジア美術館から何を学ぶべきか」)、『アート・イン・カルチャー』、ソウル

作者	作品名
1 ウォン・ホイチョン	肅清(ビデオ)

2014 *Subodh Gupta: Everything is Inside. India: The Penguin Group*

作者	作品名
1 スポード・グプタ	29の朝

2014 妹尾可南「シニカル・リアリズムの挫折感と無聊感の二重性—方力鈞の作品と栗憲庭の評論をめぐって」九州大学文学部人文学科卒業論文

作者	作品名
1 方力鈞	シリーズ 2 No.3

2014 *Khadim Ali on his Drawing Workshops with Children. Edit. Nisma Zaman. Guggenheim UBS Map Global Art Initiative. The Solomon R. Guggenheim Foundation, New York. Web. 27 Jun.*

作者	作品名
1 ハーディム・アリー	誰もいない台所2

入館者数

年度別入館者数

年度別	開館日数	常設展	特別企画展	貸館展覧会等	合計	1日平均
10年度	22		22,250		22,250	1,011
11年度	242	38,530	149,395	70,336	258,261	1,067
12年度	309	66,421	118,677	106,529	291,627	944
13年度	302	29,632	15,330	186,987	231,949	768
14年度	301	45,472	71,375	40,452	157,299	523
15年度	307	56,623	167,353	64,827	288,803	941
16年度	305	39,828	37,815	81,015	158,658	520
17年度	294	42,679	107,203	90,714	240,596	818
18年度	307	53,872	69,007	96,847	219,726	716
19年度	309	45,501	81,972	88,543	216,016	699
20年度	307	50,719	67,797	142,131	260,647	849
21年度	286	35,740	111,635	77,814	225,189	787
22年度	307	40,820	57,272	83,921	182,013	593
23年度	311	62,267	57,101	150,081	269,449	866
24年度	313	66,876	54,893	188,001	309,770	990
25年度	311	54,509	204,388	84,587	343,484	1,104
累計	4,533	729,489	1,393,463	1,552,785	3,675,737	811

月別入館者数

月別	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
人数	23,930	10,192	13,644	24,561	56,963	13,232	29,115	43,266	31,236	81,395	5,567	10,383	343,484

あじびホール月別使用状況

月別	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
件数	5	6	19	14	13	22	7	14	8	4	16	6	134
人数	546	550	1,277	1,543	663	3,515	582	1,131	712	334	1,832	498	13,183

あじびホール年度別使用状況

年度	別件数	人数
10年度	21	1,730
11年度	110	8,480
12年度	106	9,682
13年度	58	8,834
14年度	50	5,849
15年度	70	7,353
16年度	87	8,681
17年度	89	7,336
18年度	109	11,609
19年度	113	11,487
20年度	145	13,360
21年度	102	8,227
22年度	119	10,198
23年度	119	12,750
24年度	148	14,069
25年度	134	13,183
累計	1,580	152,828

あじびホール使用状況内訳

催物別	件数	人数
講演会	10	860
セミナー	6	482
アーティストトーク	5	276
ワークショップ	10	652
映画	41	5,309
演劇	12	1,262
音楽	3	275
落語	2	213
漫才	7	692
展示	12	976
その他	26	2,186
合計	134	13,183

常設展・特別企画展

展覧会名	開催期間	日数	計	1日平均	有料観覧者数				無料観覧者数	
					一般	高・大	小・中	計		
常設展		311	54,509	175	6,281	1,102	0	7,383	47,126	
特別企画展	おいでよ！絵本ミュージアム2013	7月26日－8月18日	24	50,418	2,101	17,899	478	6,435	24,812	25,606
	スタジオジブリ・レイアウト展	10月12日－1月26日	87	150,418	1,729	99,332	18,366	12,521	130,219	20,199
	東京・ソウル・台北・長春―官展にみる近代美術	2月13日－3月18日	30	3,552	118	1,339	183	0	1,522	2,030
合計		141	204,388		118,570	19,027	18,956	156,553	47,835	

貸館展覧会等 7階企画ギャラリー

展覧会名	開催期間	日数	観覧者数	内容等
仮面ライダーアート展	4月 1日～ 4月14日	12	13,794	歴代の仮面ライダーの紹介や作者の石ノ森正太郎の原稿、複製原画等の展示。
第13回上野彦馬賞九州産業大学フォトコンテスト受賞作品展	4月18日～ 4月23日	6	520	「日本の写真の祖」といわれる上野彦馬の名を冠するフォトコンテストで受賞した作品を展示。
博多の女セレクション展	4月18日～ 4月23日	6	1,064	「月刊はかた」の「博多の女シリーズ」に登場した女性120名の中の有志の第1回の展示会。
画業60周年記念 松本零士秘蔵コレクション展	4月26日～ 5月13日	16	3,788	松本零士の直筆原稿、アニメのセル画、背景画等約300点を展示。
小宮雅廣の油彩画展	5月16日～ 5月21日	6	551	油彩作品100～200号を35点前後展示。
前原ヨシノブ個展	5月16日～ 5月21日	6	359	彫刻、インスタレーション等の立体造形の作品展。
日中韓書画代表作家連立個展、「井上一光」個展30回記念展、「姚明」来日20周年記念展、「鄭東珠」由布院作品室開廊10周年記念展	5月23日～ 5月28日	6	1,269	書、水墨画、書画等の作品展。
第21回アジア美術家連盟日本委員会展	5月30日～ 6月 4日	6	1,106	福岡を中心に県内、県外、他関西、関東在住の会員の作品展で、油彩、アクリル、日本画、ミックストメディア、版画、彫刻、造形作品などを展示。
川久保正登陶展	6月 6日～ 6月11日	6	1,297	木々を灰にして作った釉薬を使用して、土との組み合わせを考えて作った陶器展。
松田朴伝社中展	6月 6日～ 6月11日	6	1,123	文学作品あり、立体作品ありで現代書の楽しさをアピールし、日頃の練習の成果を発表。
西日本写真協会福博支部 第14回「木曜会」作品展	6月 6日～ 6月11日	6	759	毎月一回の撮影会、講習会(例会)を開催し、その成果を発表する作品展。
花と光のフェスティバル (第17回押花で描く雅の世界)	6月13日～ 6月18日	6	1,327	押花顔絵、ガラスアート・ネイチャープリント・レカンフラワー、ファッションステンシルなどの作品を展示。
第53回西日本フォトコンテスト受賞作品展	6月13日～ 6月18日	6	1,012	西日本フォトコンテストで受賞した作品の展示会。
SHIBORI NOW 2013 HAKATA シボリコミュニティ第19回合同作品展	6月20日～ 6月25日	6	1,507	福岡・北九州が当番の藍染絞り合同作品展。
九州アートディレクターズクラブアワード2013	6月27日～ 7月 2日	6	1,587	九州を活動拠点とするプロフェッショナルのクリエイターによる年に一度の公開審査会及び入賞作品展示会。
第41回日本の書展 九州展	7月 4日～ 7月 9日	6	2,231	日本を代表する書家と九州・山口・沖縄在住の書家の作品展。
九州産業大学芸術学部写真映像学科 百瀬ゼミナール写真展「島展」	7月11日～ 7月16日	6	875	日本に存在する大小様々な島から、ゼミナール生が一人一人島を選択し、撮影した作品を展示。
第11回日中韓友好児童絵画展	7月11日～ 7月16日	6	1,320	日中韓国内それぞれで、幼稚園・保育園・小学校の児童の絵画作品を募集・選考し展示。(韓国作品も特別参加)
第16回 桑樹書展	8月22日～ 8月27日	6	1,027	課題をアジアとし、そこから連想する文字を作品化した書の展示会。
第41回 福岡教育大学書道科 福岡県人書作展	8月22日～ 8月27日	6	480	福岡教育大学教育学部、中等教育教員養成課程専攻、生涯スポーツ芸術課程書美コースに所属する福岡県出身者の作品展。
佐伯和子の絵画・オリジナルジュエリー展	8月22日～ 8月27日	6	813	油絵・アクリル絵とオリジナルジュエリーを展示。
第18回「曹亜綱水墨芸術学院」福岡地区作品展	8月29日～ 9月 3日	6	814	曹亜綱水墨芸術学院の水墨や墨彩画の作品展。
テキスタイル&ファイバーアートグループgrasp第13回展	8月29日～ 9月 3日	6	389	九州産業大学芸術学部で染織を学んだメンバーで、布地や繊維を主体に、染色や織の技法をベースとした個性豊かな作品展。
イメージラボ写真教室 第14回作品展	9月 5日～ 9月10日	6	1,166	1999年に教室がスタートし今年で14年目を迎える。大名と高宮とで開いている教室の作品展。
15周年特別企画「文化人・芸能人の多才な美術展」2013	9月12日～ 9月17日	6	2,029	文化人や芸能人が描いた絵画等の作品展。
第12回現美墨象展	9月19日～ 9月24日	6	900	形、線質、リズム、墨色、余白等を取り出し、各自のイメージに合わせて再構築する書の抽象作品展。
キルトinライフおくらグループ展	9月19日～ 9月24日	6	938	パッチワークで作った作品展。
第8回ぶらり筆本の会作品展	9月19日～ 9月24日	6	949	筆ペン画家 中村洋一氏が主宰・指導する美術愛好家の団体の作品展示会。
九州朝日放送創立60周年記念「生誕80周年記念 藤子・F・不二雄展」	3月29日～ 3月31日	3	3,663	生誕80周年を迎え約270タイトルの作品を生み出し、5万枚の原稿を描き続けた藤子・F・不二雄の世界観を分かち合える展示会。
合計		187	48,657	

貸館展覧会等 8階交流ギャラリー

展覧会名	開催期間	日数	観覧者数	内容等
第20回蒼龍会書作展	4月 1日～ 4月 2日	2	309	半紙1/2以下、半紙、色紙、扇面等の漢字・仮名・ペンの作品展。山岸会長所蔵の近現代書家の肉筆も展示。
田尻砂津子フックド・ラグ展	4月 4日～ 4月 9日	6	388	1995年から2013年にかけて制作したフックド・ラグ100点余りの作品展。
アフリカの印象・中尾精后・油絵展	4月11日～ 4月16日	6	252	「アフリカの印象」をシリーズで制作した油絵展。
ICCデジタルカメラクラブ 第3回作品展	4月18日～ 4月23日	6	530	岩田屋コミュニティカレッジでのデジタルカメラ教室の写真展。

展覧会名	開催期間	日数	観覧者数	内容等
第11回NHK福岡文化センター 平川幸児写真教室写真展「日々の記憶」	4月25日～ 4月30日	6	637	個展形態による組写真(モノクロ及びカラー)を展示する。
Atelier Light Student graphics 2013	5月 2日～ 5月 7日	6	659	絵画教室アトリエライトの生徒の作品展。
第13回福岡江古田会アート展	5月 9日～ 5月14日	6	440	福岡県内在住の日本大学芸術学部卒業生で組織する福岡江古田会の美術展。
華麗なる書と染展	5月16日～ 5月21日	6	753	書家三人と染色家一人の合同展。
松田美未子アート表装「游心会」作品展	5月23日～ 5月28日	6	879	古い着物や帯を材料に使い、デザインした屏風、掛軸、額装、パネルなどの表装作品展。
北と南の写真家2人展～その仲間たち～	5月30日～ 6月 4日	6	340	札幌と福岡に住む2人の合同写真展。
梶研WORKS1999-2013 ～九州産業大学芸術学部 梶原研究室15周年記念同窓作陶展～	6月 6日～ 6月11日	6	462	梶原研究室15周年記念の同窓作陶展。
セキサバ倶楽部	6月13日～ 6月18日	6	849	社団法人「日本広告写真家協会」の九州支部会員の写真展。
TOIRO展Vol. 3	6月20日～ 6月25日	6	629	イメージラボ写真教室の卒業生を中心としたメンバーが撮影した写真展。
素花 生活の中のボジャギと紐紐展	6月27日～ 7月 2日	6	1,001	工房の生徒や福岡でボジャギを制作している人たちの作品展。同時に韓国に韓国の紐紐も展示。
第41回日本の書展 九州展	7月 4日～ 7月 9日	6	1,167	日本を代表する書家と九州・山口・沖縄在住の書家の作品展。
人道の外交官「杉原千畝」6000人の命のビザ・遙かなる旅路展	7月11日～ 7月16日	6	2,306	写真パネル、地図パネル、遺品、杉原千畝の年表、杉原サバイバー写真パネル、を展示。また福岡テレビのDVDを放映。
第13回アーティスト・イン・レジデンスの 成果展パート1	7月20日～ 8月 5日	16	1,452	福岡アジア美術館が招聘した美術作家チェン・サイ・ファクワン(シンガポール)とチャリントン・ラチュルチャタ(タイ)が福岡の人たちと交流しながら制作した作品を展示した成果展。
児童絵画展	8月 8日～ 8月13日	6	1,028	「わたしと先生」というテーマで小学校2年生を対象に絵画を募集し優秀な作品を展示。
フクオカフォトフェスティバル2013・ 釜山交流写真展	8月15日～ 8月20日	6	1,467	釜山の写真家との交流や写真に親しみ、楽しむことを目的とした年に一度の恒例の写真展。
家族の時間 もうひとつの建築写真	8月22日～ 9月 3日	12	1,213	建築・インテリアの写真撮影を行う中で、心に描いた「家族の時間」を写真におさめた、もうひとつの建築写真展。
PHOTO JAM	8月22日～ 8月27日	6	440	「見る人の人生を変えるくらいの一枚に出会って欲しい」というテーマで福岡在住のプロカメラマンによる展示会。
2013九州造形短期大学選抜作品展	8月29日～ 9月 3日	6	196	学生及び卒業生の作品で優秀なものを、絵画、彫刻、パネル、立体、映像、染色、陶芸、写真、ファッション、プロダクトなどを展示。
福岡インディペンデント映画祭(FIDFF)2013	9月 5日～ 9月10日	6	372	壁面をスクリーンとしたインスタレーションやイラスト、テレビモニターを利用した展示。ワークショップ、トークイベントなどを開催。
第43回世界児童画展 福岡・佐賀県展	9月14日～ 9月16日	3	1,766	福岡、佐賀エリアの優秀作品と世界及び日本国内での上位の作品を展示。
第4回 皆展	9月19日～ 9月24日	6	689	「絵を描くことを楽しむ」の考えをもとにした、3才から90才までの各絵画サークル、皆(みんな)の合同展。
2013卒業作品展示(韓国 蔚山大学校 デザイン大 学 視覚デザイン学科) 視覚デザイン学科卒業作品展	9月26日～10月 1日	6	220	蔚山大学のデザインを勉強している学生の卒業制作で、CIデザイン、ポスターデザイン、パッケージデザイン、イラストレーション、POPデザイン等を展示。
EXPANDED PASSION: Contemporary Art from Malaysia 情熱の展開:マレーシア現代ア ート展	10月 3日～10月 8日	6	405	厳選された、マレーシアのアーティスト15名による作品展。
中国胡弘現代絵画展	10月10日～10月15日	6	295	個人現代絵画展、当代中国現代絵画代表として初の日本展。
第36回 西日本版画協会展	10月17日～10月22日	6	625	木版画を主体に孔版、銅版を展示。
平成25年度 博多区文化・芸術展	10月24日～10月29日	6	408	博多区内に在住または通勤・通学している人たちの絵画、写真、書の展示会。
「十人十色」第2回日韓交流展	10月31日～11月 5日	6	402	異なったアートの分野で活動している作家同士が交流し、技や完成を高めるための展示会。
第29回 城南区市民アート展	11月 7日～11月12日	6	656	中学生以上で城南区に居住または通勤・通学している人からの応募作品を展示。
第13回アーティスト・イン・レジデンスの 成果展パート2	11月16日～12月 2日	15	982	福岡アジア美術館が招聘した美術作家サミール・タウド(インド)とバーサンジャブ・チョジリアブ(モンゴル)が福岡の人たちと交流しながら制作した作品を展示した成果展。
日本風景写真協会 福岡第一支部 第12回写真展「四季瞬景」	12月 5日～12月10日	6	922	「プロもアマも風景写真をたのしもう」を合い言葉に、今回のテーマは「四季瞬景」とし写真展を開催。自然が織りなす四季の瞬景を全紙で展示。
第51回 オール福岡大学 写真展	12月12日～12月17日	6	707	福岡大学写真部の最大行事であり、部員をはじめOBなど様々な方の個性溢れるモノクロ・カラー作品を展示。
福岡市人権尊重作品展	12月19日～12月25日	7	428	福岡市人権尊重週間行事の一環として、募集したポスター、標語、絵手紙を展示。
第25回 MOA美術館福岡児童作品展	1月 2日～ 1月 7日	6	2,173	MOA美術館が運営するMOA全国児童作品展の一環としての展示会で、福岡市及びその近郊に在住する小学生から募集した絵画の作品展展示会。
第19回福岡県幼児画展	1月 9日～ 1月14日	6	2,535	県内の幼稚園、保育園からの応募作品より選出した入賞、入選作品450点を展示。

展覧会名	開催期間	日数	観覧者数	内容等
第12回福岡市立高等学校合同文化発表会	1月16日～ 1月21日	6	429	福岡市立の四つの高校の生徒達が作成した作品を展示。美術部、書道部など文化部活動における作品と工業、服飾デザインなど専門学科における実技・実習作品を展示。
公益社団法人 日本広告写真家協会 九州支部写真展	1月23日～ 1月28日	6	763	日本広告写真家協会九州支部の正会員と会友のメンバー約40名が約60点の写真を展示。
2013アジアデジタルアート大賞展FUKUOKA	1月30日～ 2月 4日	6	551	静止画、動画、インタラクティブアート、エンターテインメントなどの部門に分けて作品を募集し展示。
福岡デザイン専門学校 第16回卒業制作展&アジアデザイン交流展	2月 6日～ 2月11日	6	630	福岡デザイン専門学校第16回卒業制作の展示と提携校である台湾の国立彰化師範大学附属高級工業職業学校、華夏技術学院の作品を展示。
九大生AQAプロジェクトによる現代美術展 世界の在りかーインドネシアと日本	2月14日～ 2月25日	12	912	インドネシアと日本の作家を8名程度選び、作品を約20点展示。
第3回 九産大 造形・彫刻コース合同作品展	2月27日～ 3月 4日	6	187	塑像・木彫・陶器・金属彫刻・写真インスタレーションなど約30点を展示。
九州産業大学芸術学部デザイン学科ビジュアルデザインコース 卒業制作秀作展	3月 6日～ 3月11日	6	404	デザイン学科ビジュアルデザインコースのグラフィック、アート、映像、アニメーションの卒業制作作品で、30～35人の秀作を展示。
福岡教育大学大学院美術教育コース 修了制作展	3月13日～ 3月18日	6	445	福岡教育大学大学院生の書、立体構成デザイン、銅版画、彫刻、油彩などを展示。
張朝暉水墨展：山と水	3月20日～ 3月25日	6	257	中国の水墨画家張朝暉氏的水墨画33点を展示。
都市生活者—佐々木俊介自選(退職記念)展 Since1977	3月27日～ 3月31日	5	370	テーマを概ね等身大の生活環境・日常生活・都市生活者とし、これまでストックしてきた作品より40点程度を選定し展示。
合計		312	35,930	

活動記録

2013年

- 5月18日 福岡ミュージアムウィーク開催(5月26日まで)
- 5月15日 招聘美術作家チェン・サイ・ファ・クワン氏来館
(7月23日まで滞在)
- 招聘美術作家チャリントン・ラチュルチャタ氏来館
(7月23日まで滞在)
- 7月19日 秋篠宮眞子様ご来館
- 7月26日 「おいでよ! 絵本ミュージアム2013」開会式
- 9月11日 招聘美術作家バーサンジャブ・チョシリアブ氏来館
(11月20日まで滞在)
- 招聘美術作家サミール・タウド氏来館
(11月19日まで滞在)
- 10月11日 「スタジオジブリ・レイアウト」展開会式
- 10月22日 美術資料収集審査員会議

2014年

- 1月16日 研究者キム・ヒョンスク氏来館
(2月25日まで滞在)
- 2月12日 研究者ニ・クン氏来館
(3月25日まで滞在)
- 2月13日 「東京・ソウル・台北・長春」官展にみる近代美術」展開
会式
- 2月25日 とびだせ! アジア美術館(屋形原特別支援学校)
(2月28日まで)



概 要

1 基本理念

アジア美術の独自の創造を目指す一助とするため、
アジア近現代美術を通して人々が集い、
互いに理解し、創造、発信するアジア美術の交流の場とする。
また、世界的に有数の質の高いアジア近現代美術作品の集積を生かし、
展示、収集のみならず、日常的なアジアとの交流、
調査研究活動を積極的に展開するとともに、
アジアの芸術家や研究者等と日本の芸術家、研究者、
市民が互いに創り、学びあうことにより、
新たな創造と相互理解を促す機会を提供する。

2 活動内容

1 交流事業

アジアの美術作家、研究者・学芸員を当館に一定期間招聘し、市民とともに公開制作を行ったり、研究成果を発表したり、また、地域や学校などに出向いてワークショップを実施するなど、様々な交流事業を推進することにより、市民のアジア美術に対する理解、関心を深め、地域文化の質的向上に努めるとともに、アジアの芸術文化の発展に貢献することをめざす。

(1) アジアの美術作家との交流事業

市民共同創作事業、ワークショップ、滞在制作展を実施し、市民との交流を図る。

(2) アジアの研究者との交流事業

アジア現代美術に関するフォーラムやワークショップ等の教育プログラムを通して市民との交流を図る。

(3) 地域交流事業

市民が気軽に参加しアジア文化を身近に感じることができるイベントを開催する。

2 展示事業

(1) コレクション展示(アジアギャラリー)

ジャンル別、テーマ別に紹介

(2) 企画展示(アジアギャラリーほか)

4つのシリーズ展「近代美術」「現代アジアの作家」「生活とアート」「アート横断」として紹介する。

(3) 特別企画展(企画ギャラリー他)

①最新のアジア現代美術を紹介する「福岡アジア美術トリエンナーレ」展を3年毎に開催する。

②アジアを中心とする幅広い時代や分野の特別企画展を開催する。

3 収集事業

(1) 収集方針

アジアの独自性を示す優れた作品を、近現代を中心に収集する。

(2) 収集対象・範囲

原則として、19世紀から現代までの近現代美術を中心とし、パキスタン以東、モンゴル以南、インドネシア以北以西の作品を収集する。

4 教育普及事業

(1) あじびホール等での講演会、ワークショップ等の開催

(2) 美術情報コーナーや図書閲覧室での資料・情報提供

(3) アジア美術館の出版物等の制作

A. あじびニュース(年4回)

B. 交流事業記録集(年1回 ホームページで公開)

5 ミュージアム施策事業

ミュージアムウィーク事業

博物館・美術館の役割を広く知ってもらうために制定された「国際博物館の日」(5月18日)を記念して、平成21年度から実施している福岡ミュージアムウィークを拡充して行う。

6 調査・研究

1～5の事業の実施のためのアジア近現代美術の調査・研究

3 施設概要

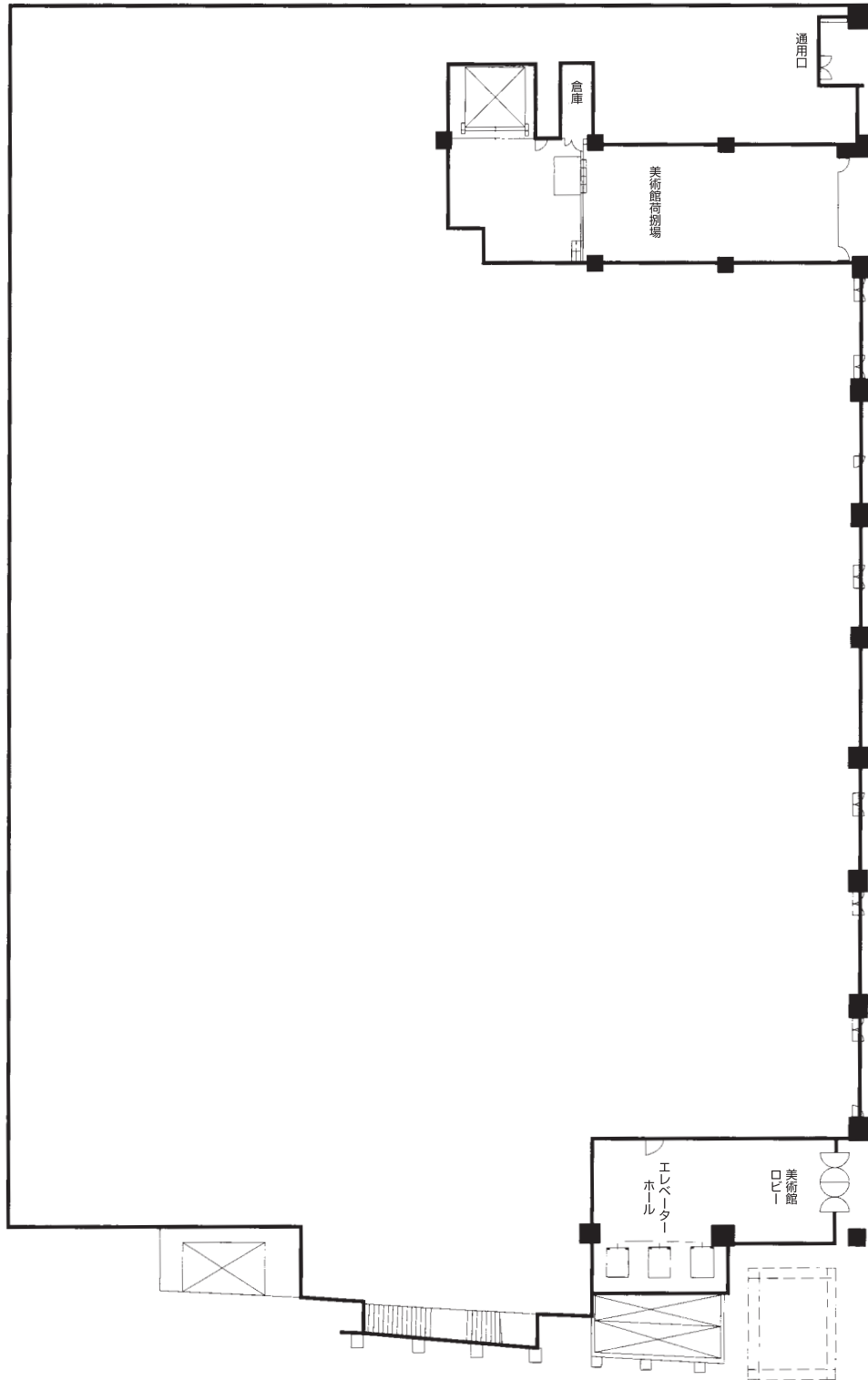
設置者	福岡市長
設立年月日	平成11年(1999)3月6日
名称	福岡アジア美術館
所在	福岡市博多区下川端町3番1号(博多リバレイン)
面積	建物面積151,595.91のうち区分所有 専有面積9,101.05㎡
構造	鉄骨鉄筋コンクリート造 地下4階地上13階のうち 1階及び7階、8階
設計者	日建設計・観光企画設計社・都市未来ふくおか・西日本 技術開発・設計共同企業体
取得額	保留床取得価額12,552,002千円

[各室面積表一覧] (単位:㎡)

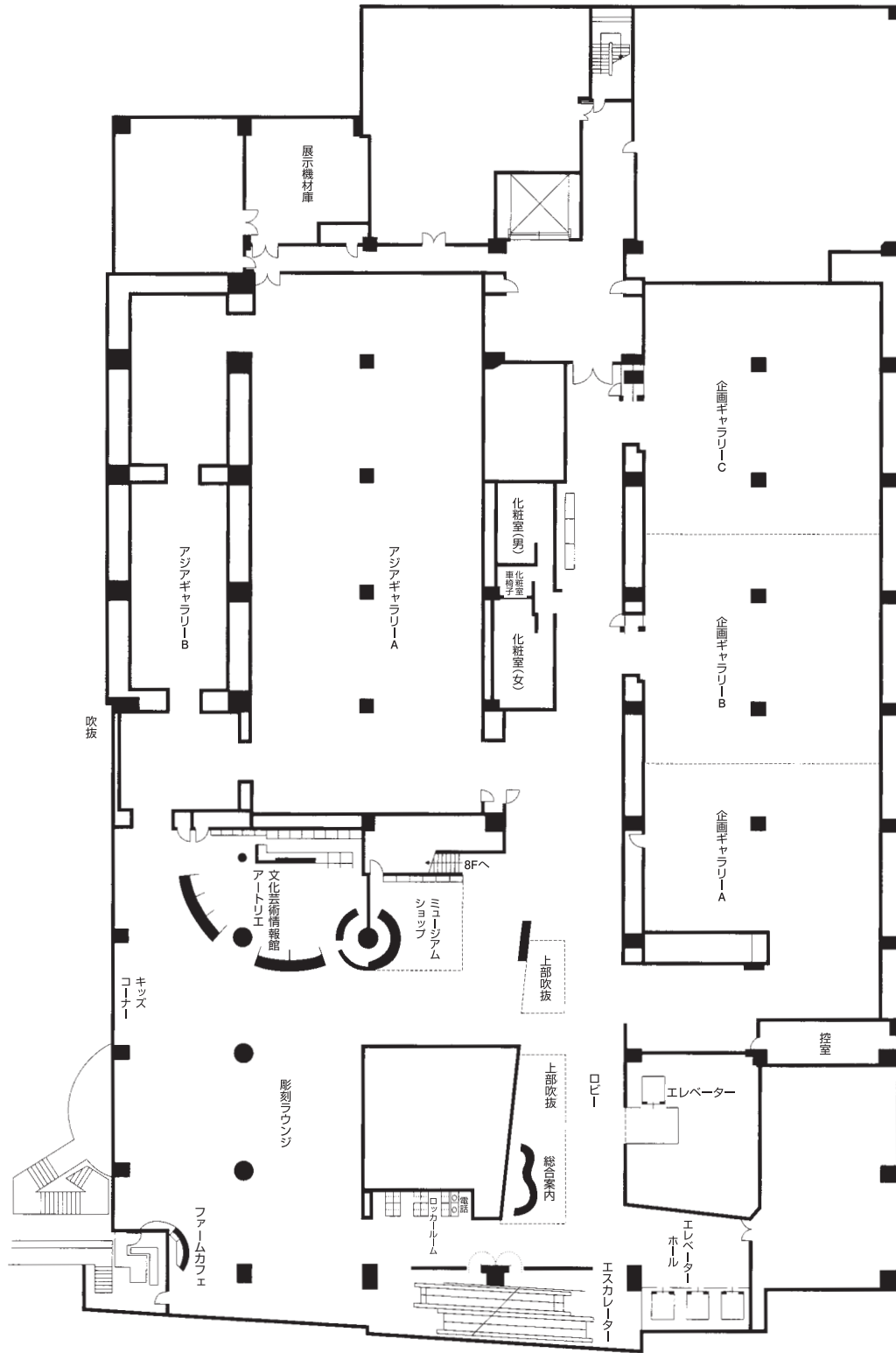
地下1階	61.69
1,2,3号EVビット	31.19
13号EVビット	30.50
1階	398.34
1,2,3号EV	47.47
13号EV	36.60
美術館ロビー	52.01
EVホール	50.97
美術館荷捌場	66.53
倉庫	11.24
搬入車路	133.52
7階	4,233.33
企画ギャラリー	1,004.58
物入(1)	8.77
控室	23.01
ロビー(2)	61.69
機械室(3)	131.18
チャンパー(機3)	28.43
EVホール	47.36
階段	19.43
荷捌室	110.95
通路	335.79
便所前室	12.05
便所(客・男)	22.40
便所(客・女)	31.84
便所(客・車)	5.84
ロビー(2)	214.10
展示機材庫	56.55
チャンパー	23.38
裏通路	37.40
M7F機械室	59.40
機械室(2)	92.33
アジアギャラリー	1,110.56
ミュージアムショップ	77.60
商品倉庫	20.38
文化芸術情報館アートリエ	125.52
彫刻ラウンジ	516.24
ファームカフェ	14.39
ラウンジM8	42.16
8階	4,407.69
1,2,3号EV機械室	56.11
格納庫(1)	171.00
収蔵庫(1)	152.02
準備室	87.60
交流スタジオ	223.30

8階	暗室(1)	9.90
	倉庫(1)	23.70
	交流ギャラリー	369.54
	倉庫	19.11
	機械室(1)	128.96
	前室(機1)	26.13
	階段	14.82
	格納庫(2)	17.94
	撮影室	87.30
	暗室(2)	6.50
	便所(男・女)	7.02
	荷捌室	167.84
	警備室	14.85
	倉庫(2)	30.80
	あじびホール	159.53
	前室(あじび)	7.35
	前室(あじび)	5.39
	調整映写室	23.50
	ロビー	360.43
	収蔵庫(2)	252.27
	前室(収蔵2)	11.10
	機械室(4)	25.32
	映像資料室	35.20
	AVステーション室	52.49
	資料カード室	40.45
	学芸図書室	119.84
	図書閲覧室	44.14
	階段室	13.42
	便所(客・男)	18.44
	便所(客・女)	23.74
	便所(客・車)	6.77
	医務室	6.73
	授乳室	14.74
	便所(職・男)	17.54
	便所(職・女)	16.41
	女子ロッカー	14.24
	男子ロッカー	11.44
	給湯室	6.85
	物品倉庫	32.00
	印刷室	13.87
	監視員控室	30.88
	ボランティア室	45.95
	ミーティングルーム	41.02
	機械室(2)	22.87
	機械室(3)	144.90
	チャンパー(機3)	20.21
	倉庫(3)	22.20
	招待者用研究室(1)	32.76
	招待者用研究室(2)	32.79
	招待者用研究室(3)	32.79
	倉庫(4)	9.88
	会議室	122.63
	学芸研究室	81.75
	学芸・管理課	245.27
	館長室	41.48
	前室(館長)	8.53
	顧問室	30.33
	応接室	35.92
	休憩室	21.59
	脱衣室	7.70
	シャワー室	2.00
	通路	135.81
	廊下	290.79
合計		9,101.05

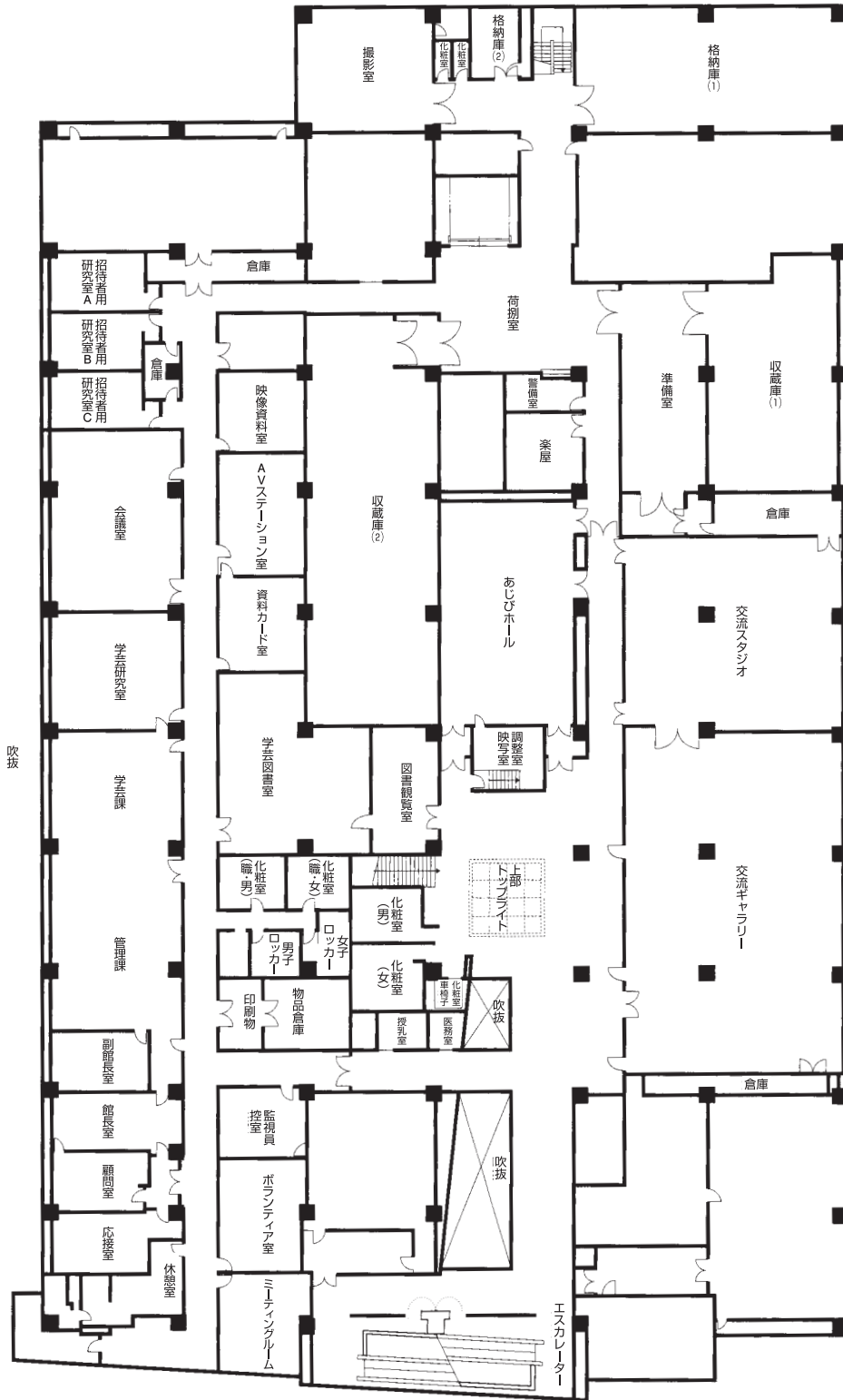
1F



7F



8F



4 沿革

平成 4年(1992) 6月	市長がアジア近代美術館の建設意向を表明
平成 5年(1993) 7月	アジア美術館整備構想委員会の設置、開催(答申までに2回開催)
平成 7年(1995) 2月	アジア美術館整備構想委員会の答申 市長が下川端市街地再開発ビルでの設置を表明
平成 7年(1995) 3月	第1回アジア美術館建設専門委員会開催(開館までに7回開催)
平成 7年(1995) 4月	平成7年度当初予算に調査費を計上、福岡市美術館内に建設担当課の設置(1課2係4人)
平成 7年(1995) 11月	基本方針決定
平成 7年(1995) 12月	下川端地区市街地再開発組合と保留床売買に関する覚書を締結
平成 7年(1995) 12月	美術館用建物取得。一般会計補正予算、福岡市議会で原案可決
平成 8年(1996) 1月	下川端地区市街地再開発ビル起工
平成 8年(1996) 2月	第1回アジア美術館市民懇談会開催(開館までに5回開催)
平成 8年(1996) 3月	下川端地区市街地再開発組合と保留床売買契約書を締結
平成 8年(1996) 4月	建設担当課の増員(1課2係5人、参与及び担当部長の兼務発令)
平成 8年(1996) 8月	第1回アジア美術館資料収集審査会開催(開館までに4回開催)
平成 9年(1997) 3月	土地共有持分移転登記
平成 9年(1997) 4月	建設担当課の設置(2課3係8人)
平成 9年(1997) 7月	開館記念展「第1回福岡トリエンナーレ」(正式名称:第1回福岡アジア美術 トリエンナーレ1999[第5回アジア美術展])実行委員会設立総会
平成10年(1998) 2月	正式館名を公募。「福岡アジア美術館」に決定 (応募件数4,079点[2,775人])
平成10年(1998) 2月	開館記念展の国際協力者会議開催
平成10年(1998) 9月	福岡アジア美術館条例制定
平成10年(1998) 10月	建設工事完了 竣工検査
平成10年(1998) 12月	建築物引渡し
平成11年(1999) 1月	福岡アジア美術館へ組織変更 (館長以下2課3係12人[嘱託5人]体制)、美術館へ事務所移転
平成11年(1999) 2月	建築物登記
平成11年(1999) 3月 1日	博多リバレイン竣工式
平成11年(1999) 3月 3日	福岡アジア美術館開館記念式典
平成11年(1999) 3月 6日 ～6月 6日	福岡アジア美術館開館、博多リバレイン開業 開館記念展「第1回福岡アジア美術トリエンナーレ」開催
平成11年(1999) 5月	収蔵品を福岡市美術館から移転
平成11年(1999) 6月	収蔵品展示の開始
平成14年(2002) 3月21日	「第2回福岡アジア美術トリエンナーレ」開催(6月23日まで)
平成15年(2003) 5月27日	観覧者100万人達成
平成17年(2005) 9月17日	「第3回福岡アジア美術トリエンナーレ」開催(11月27日まで)
平成18年(2006) 3月20日	第3回アサヒビール文化芸術財団芸術賞受賞
平成19年(2007) 9月 6日	観覧者200万人達成
平成21年(2009) 9月 5日	「第4回福岡アジア美術トリエンナーレ」開催(11月23日まで)
平成22年(2010) 1月19日	平成21年度地域創造大賞(総務大臣賞)受賞
平成23年(2011) 1月24日	観覧者300万人達成
平成25年(2013) 1月26日	「スタジオジブリ・レイアウト展」で観覧者数15万人突破

名簿

福岡アジア美術館美術資料収集審査会委員

水 沢 勉	神奈川県立近代美術館長
後 小 路 雅 弘	九州大学大学院人文科学研究院教授
後 藤 新 治	西南学院大学教授
ソボン・ロドボン	チェンマイ大学美術学部准教授(タイ)

福岡市美術館協議会委員(福岡アジア美術館を含む。)

会 長	後 藤 新 治	西南学院大学国際文化学部教授
副会長	龍 秀 美	秀巧社印刷株式会社クリエイティブディレクター
委 員	石 川 正 知	公益財団法人福岡文化財団専務理事事務局長
//	植 野 か お り	立花家史料館史料室長
//	後 小 路 雅 弘	九州大学大学院人文科学研究院教授
//	大 石 京 子	福岡市立東住吉小学校校長
//	京 谷 啓 徳	九州大学大学院人文科学研究院准教授
//	榊 晃 弘	福岡市美術展運営委員長
//	田 畑 弘 行	福岡市立元岡中学校校長
//	辻 芳 子	福岡市社会教育委員
//	原 田 真 紀	ママとこどものアートじかんプロジェクト実行委員長
//	深 野 治	「西日本文化」編集長
//	藤 本 昌 代	公益社団法人福岡市老人クラブ連合会理事
//	古 川 彰	福岡市立博多工業高等学校校長
//	古 野 靖 弘	公益社団法人福岡県美術協会監事
//	松 田 瑞 恵	福岡市PTA協議会副会長
//	室 岡 祐 司	株式会社JTB九州地域活性化事業推進室室長
//	渡 邊 敬 一	福岡市青少年団体連絡会議理事

福岡アジア美術館美術交流事業招聘者選考会

藤 原 惠 洋	九州大学大学院芸術工学研究員教授
釜 堀 文 孝	九州産業大学芸術学部長
大 石 京 子	福岡市図画工作科研究委員会委員長 福岡市立東住吉小学校校長
松 尾 孝 司	西日本新聞社編集局報道センター 都市圏総局記者
宮 本 初 音	ART BASE 88代表 インディペンデント・キュレーター

福岡アジア美術館職員

館長	村上 廣志
顧問	安永 幸一
副館長	白石 伸彦
事業管理部長	萩尾 雅典
管理課長	若山 信久
管理係長	大庭 かおる
事務職員	川野 寛
事務職員	小島 美香
事務職員	井上 拓也
嘱託員	倉光 東昭
嘱託員	本田 夕力子
学芸課長	黒田 雷児
収集展示係長	ラワンチャイケン寿子
学芸員	五十嵐 理奈
学芸員	中尾 智路
交流係長	松浦 仁
学芸員	金子 裕子
嘱託員	田中 和隆 (平成25年8月まで)
嘱託員	古川 勝敏 (平成25年9月から)
嘱託員	蒲池 昌江
嘱託員	大野 和則
嘱託員	柏尾 沙織

発行 2015年1月31日
福岡アジア美術館
福岡市博多区下川端町3-1 リバレインセンタービル7・8階
<http://faam.city.fukuoka.lg.jp>
デザイン 城島印刷株式会社
印刷 福岡アジア美術館
著作権 2015年(禁無断転載)



この紙は地球環境保護のため、
再生紙を使用しています。

